

町田第三小学校跡地活用等に関する市民アンケート 調査報告書

、 なんだ かんた 、



2024年12月

町 田 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査名称	1
2. 調査目的	1
3. 調査項目	1
4. 調査設計	1
5. 回収結果	2
6. 報告書の見方	2
第2章 調査結果	3
1. 基本属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	4
(3) 職業	5
(4) 居住年数	5
(5) 世帯構成	6
(6) 同居している子ども	6
(7) 町田第三小学校との関わり	7
2. 地域課題の認識について	11
(1) 居住地域の課題	11
(2) 居住地域に不足している施設や機能・サービス	14
3. 町田第三小学校跡地活用について	17
(1) 町田第三小学校跡地にあると良い施設や機能・サービス	17
(2) 町田第三小学校跡地の活用や検討の進め方	20
(3) 町田第三小学校跡地の検討で留意すべきこと	30
4. 避難施設について	33
(1) 自宅から町田第三小学校までの距離	33
(2) 大規模地震発生時の避難場所	36
(3) 町田第三小学校閉校後の避難場所	40
(4) 町田第三小学校以外の場所への避難が難しい理由	41
(5) 避難用テント活用時に必要なもの	42
5. その他	44
(1) 町田第三小学校跡地活用等への意見	44
資 料 編	47
(1) 調査票	49

第1章 調査の概要

1. 調査名称

町田第三小学校跡地活用等に関する市民アンケート

2. 調査目的

町田市では、本町田地区の市立小学校の統合によって、2028年3月末に閉校となる町田第三小学校の活用に向けた検討を行っています。

学校は教育活動の場としてだけでなく、避難施設や地域の活動の場など、地域住民にとって身近な場所として、様々な用途に活用されていることから、町田第三小学校跡地の活用にあたっては、本町田にお住まいの皆さまのご意見を参考にさせていただきたく、本アンケート調査を実施することといたしました。

3. 調査項目

調査項目	調査内容
基本属性	性別、年齢、職業、居住年数、世帯構成、同居している子ども、町田第三小学校との関わり
地域課題の認識について	(1)居住地域の課題 (2)居住地域に不足している施設や機能・サービス
町田第三小学校跡地活用について	(1)町田第三小学校跡地にあると良い施設や機能・サービス (2)町田第三小学校跡地の活用や検討の進め方 (3)町田第三小学校跡地の検討で留意すべきこと
避難施設について	(1)自宅から町田第三小学校までの距離 (2)大規模地震発生時の避難場所 (3)町田第三小学校閉校後の避難場所 (4)町田第三小学校以外の場所への避難が難しい理由 (5)避難用テント活用時に必要なもの
その他	(1)町田第三小学校跡地活用等への意見

4. 調査設計

- | | |
|----------|---------------------------|
| (1) 調査地域 | 町田市本町田周辺 |
| (2) 調査対象 | 本町田周辺に在住の15歳以上の個人 |
| (3) 対象者数 | 1,000人 |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳からの無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送による配付、郵送およびインターネットによる回収 |
| (6) 調査時期 | 2024年8月1日～8月21日 |

5. 回収結果

- (1) 調査件数 1,000件
- (2) 有効回収数 270件（郵送173件、インターネット97件）
- (3) 有効回収率 27.0%（郵送64.1%、インターネット35.9%）

6. 報告書の見方

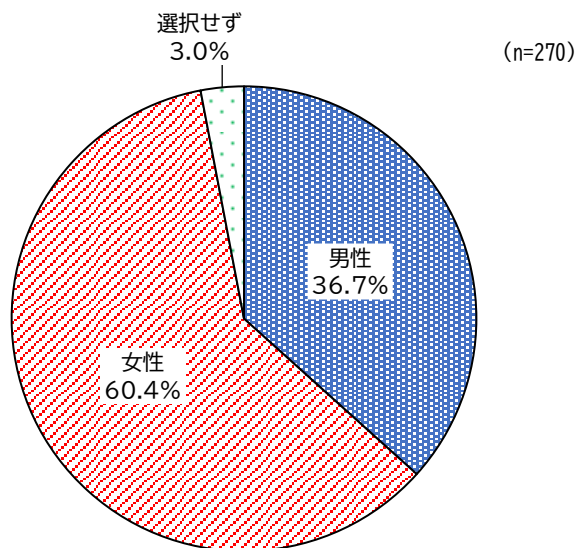
- ① 表、グラフのnまたは（ ）内の数字は回答者数を示しており、設問の回答はすべてnを基数とした百分率（%）で表している。
- ② 回答の比率（%）は、小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- ③ 回答を複数選択する設問では、数値の合計が100%を超える場合がある。
- ④ n（回答者数）が少ない場合は、回答（選択肢）ごとの比率に差が生じやすく、また標本誤差が大きくなるため、回答の分析で触れていない場合がある。

第2章 調査結果

1. 基本属性

(1) 性別

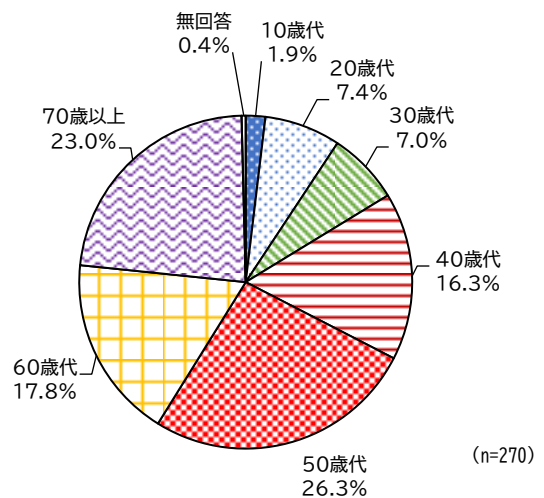
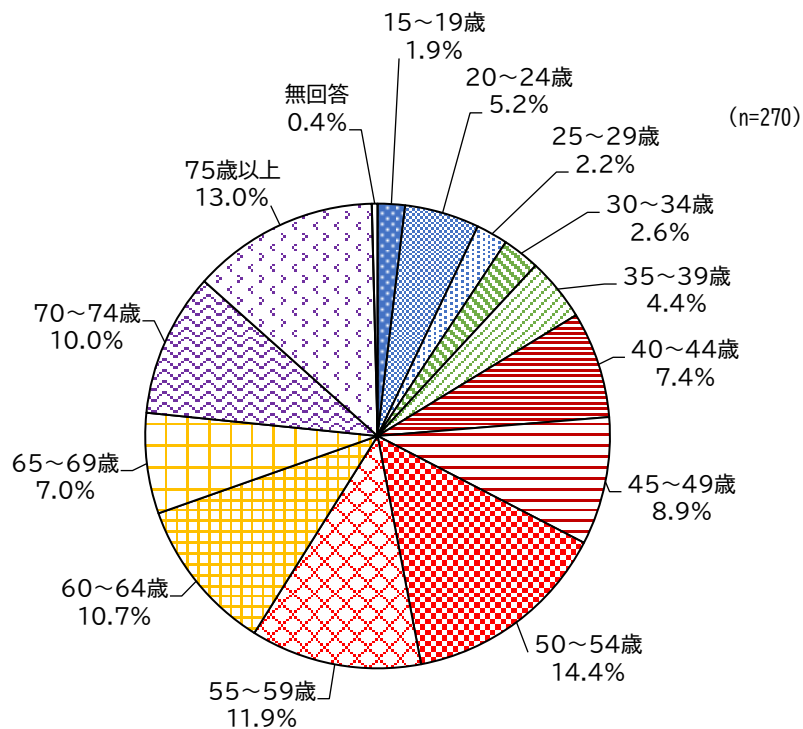
問1 あなたの性別をご回答ください。（1つだけ）



- ・「男性」が36.7%、「女性」が60.4%、「選択せず」が3.0%となっている。

(2) 年齢

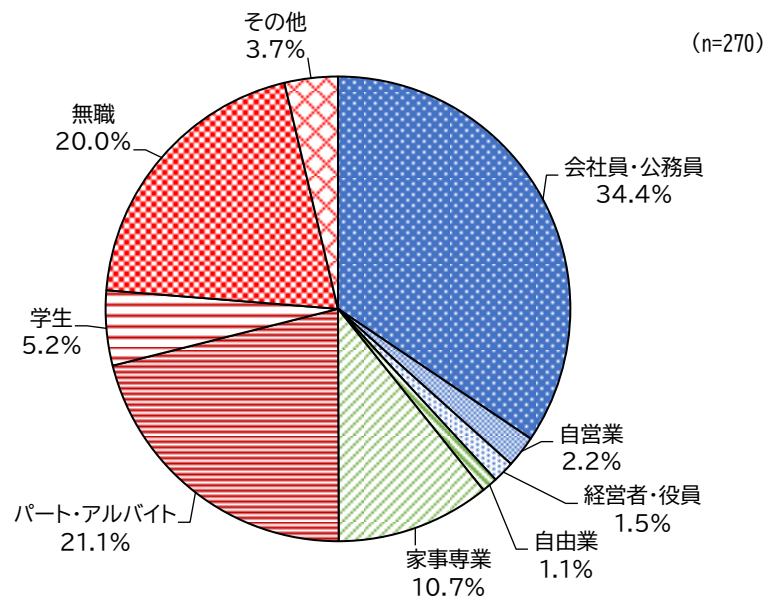
問2 あなたの年齢をご回答ください。(1つだけ)



- ・「50～54歳」(14.4%) が最も高く、次いで「75歳以上」(13.0%) が高い。以下、「55～59歳」(11.9%)、「60～64歳」(10.7%)、「70～74歳」(10.0%) などと続く。
- ・年代でみると、「50歳代」(26.3%) が最も高く、以下、「70歳以上」(23.0%)、「60歳代」(17.8%)、「40歳代」(16.3%) などと続く。

(3) 職業

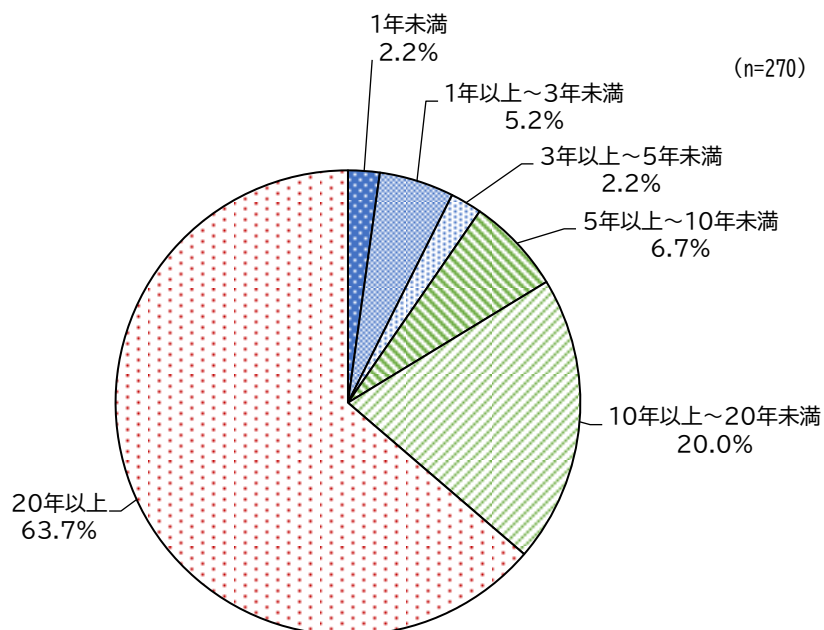
問3 あなたの職業をご回答ください。(1つだけ)



- ・「会社員・公務員」(34.4%)が最も高く、以下、「パート・アルバイト」(21.1%)、「無職」(20.0%)、「家事専業」(10.7%)などと続く。

(4) 居住年数

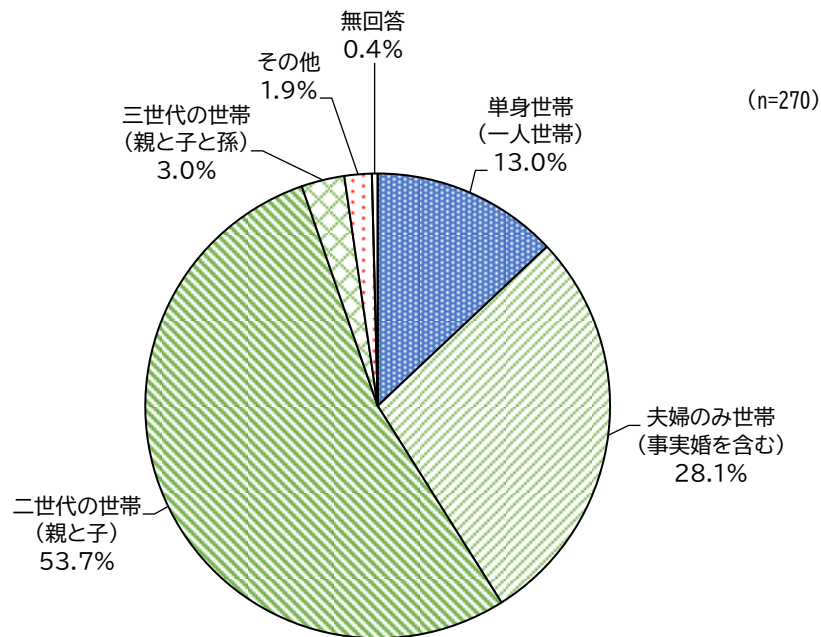
問4 あなたは町田市本町田に住んで、通算で何年になりますか。(1つだけ)



- ・「20年以上」が63.7%を占める。以下、「10年以上～20年未満」(20.0%)、「5年以上～10年未満」(6.7%)、「1年以上～3年未満」(5.2%)などと続く。

(5) 世帯構成

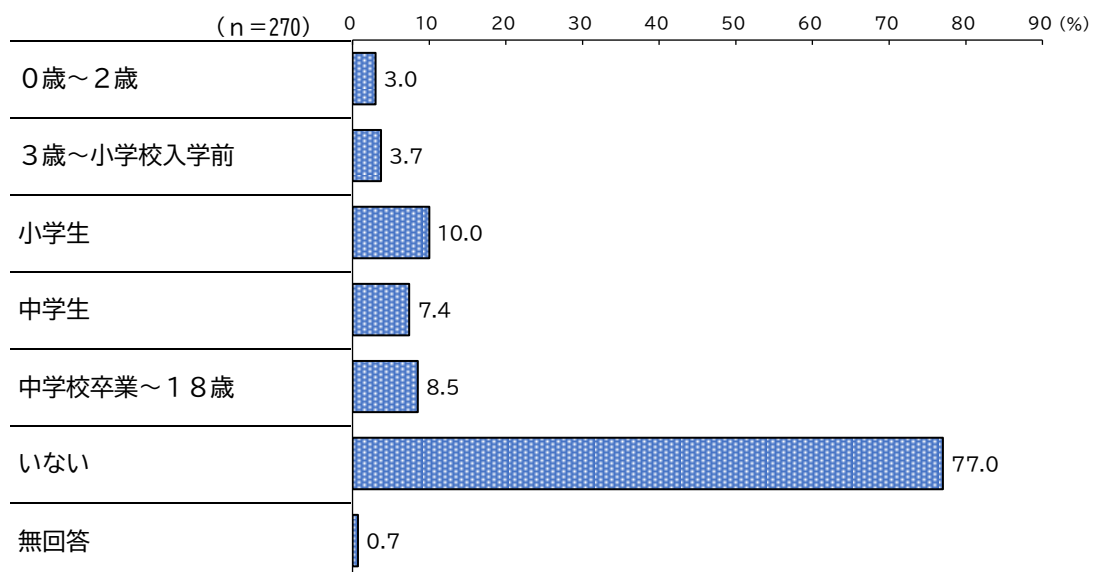
問5 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあたりますか。（1つだけ）



- ・「二世代の世帯（親と子）」（53.7%）が最も高く、次いで「夫婦のみ世帯（事実婚を含む）」（28.1%）、「単身世帯（一人世帯）」（13.0%）が高い。

(6) 同居している子ども

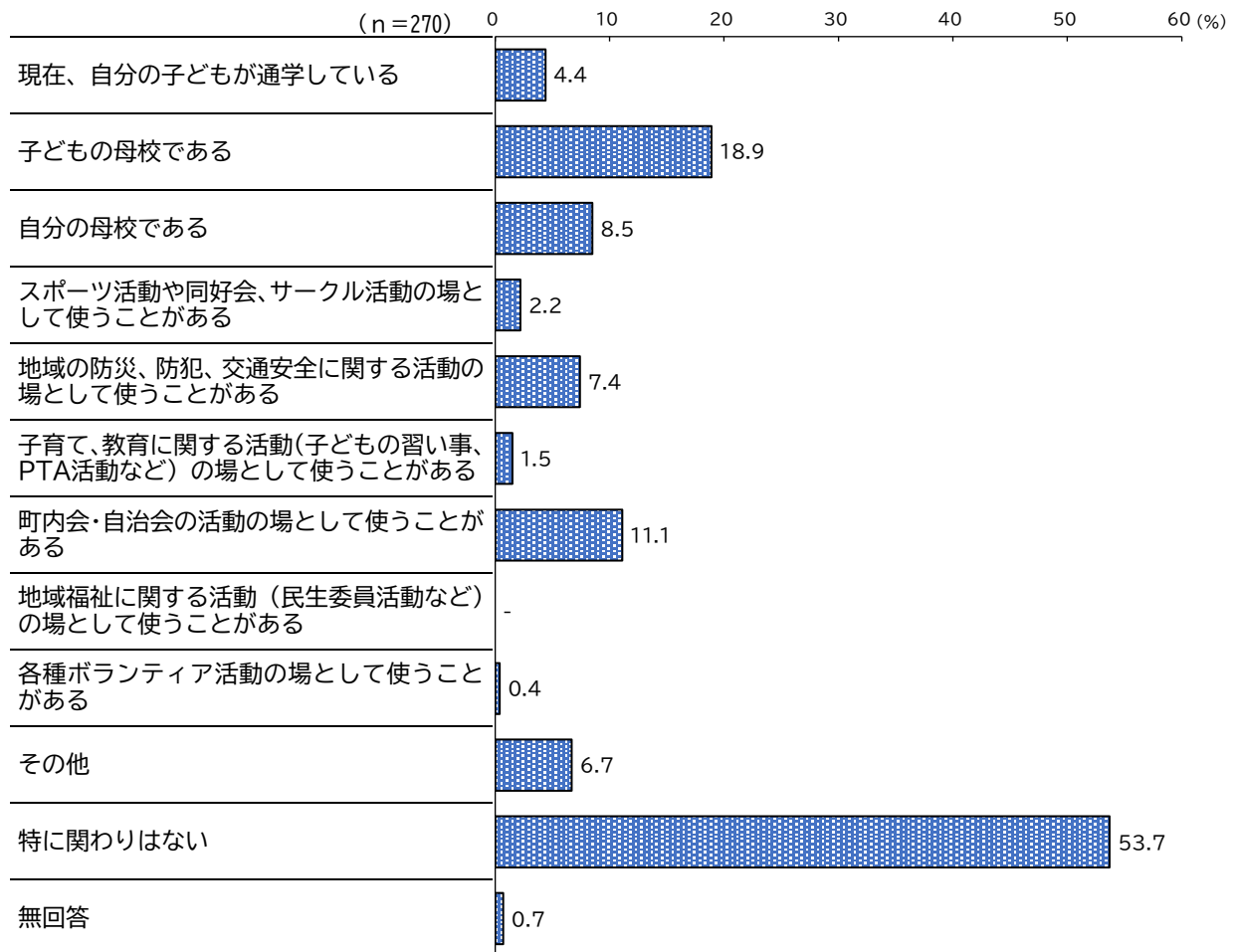
問6 あなたには、同居している0歳から18歳のお子さんがいますか。（いくつでも）



- ・「いない」が77.0%を占める。
- ・お子さんがいる中では、「小学生」（10.0%）が最も高く、以下、「中学校卒業～18歳」（8.5%）、「中学生」（7.4%）などと続く。

(7) 町田第三小学校との関わり

問7 町田第三小学校とあなたの関わりについて、選択肢から該当するものをご回答ください。
(いくつでも)



- ・「特に関わりはない」が53.7%を占める。
- ・関わりがある中では、「子どもの母校である」(18.9%)が最も高く、以下、「町内会・自治会の活動の場として使うことがある」(11.1%)、「自分の母校である」(8.5%)、「地域の防災、防犯、交通安全に関する活動の場として使うことがある」(7.4%)などと続く。
- ・「その他」(6.7%)の回答としては、「選挙の投票」、「夫、親、同級生の母校」、「仕事で行った」などが挙げられている。

◆性別、年齢別

- ・性別でみると、「特に関わりはない」は男性（58.6%）の方が女性（49.7%）より8.9ポイント高く、「子どもの母校である」は女性（22.1%）の方が男性（15.2%）より6.9ポイント高い。
- ・年齢別でみると、「子どもの母校である」は50歳代～60歳代が2割台半ばと高く、「自分の母校である」は30歳代以下が2割台半ばと高い。「町内会・自治会の活動の場として使うことがある」は60歳代以上が1割台後半と高く、「現在、自分の子どもが通学している」は40歳代以下が1割強と高い。「特に関わりはない」は60歳代が4割台半ば、それ以外の年代は5割台となっている。

(%)

		現在、自分の子どもが通学している	子どもの母校である	自分の母校である	スポーツ活動や同好会、サークル活動の場として使うことがある	地域の防災、防犯、交通安全に関する活動の場として使うことがある	子育て、教育に関する活動(子どもの習い事、PTA活動など)の場として使うことがある	町内会・自治会の活動の場として使うことがある	地域福祉に関する活動(民生委員活動など)の場として使うことがある	各種ボランティア活動の場として使うことがある
	n									
全体	270	4.4	18.9	8.5	2.2	7.4	1.5	11.1	-	0.4
性別	男性	99	5.1	15.2	10.1	2.0	8.1	2.0	10.1	-
	女性	163	4.3	22.1	7.4	2.5	6.7	1.2	11.7	-
	選択せず	8	-	-	12.5	-	12.5	-	12.5	-
年齢	30歳代以下	44	11.4	2.3	25.0	6.8	2.3	2.3	-	-
	40歳代	44	11.4	18.2	9.1	2.3	9.1	2.3	9.1	-
	50歳代	71	2.8	26.8	7.0	-	4.2	2.8	9.9	-
	60歳代	48	-	25.0	6.3	4.2	10.4	-	18.8	2.1
	70歳以上	62	-	17.7	-	-	11.3	-	16.1	-

	n	その他	特に関わりはない	無回答
全体	270	6.7	53.7	0.7
性別	男性	99	6.1	58.6
	女性	163	7.4	49.7
	選択せず	8	-	75.0
年齢	30歳代以下	44	4.5	54.5
	40歳代	44	4.5	50.0
	50歳代	71	5.6	54.9
	60歳代	48	12.5	45.8
	70歳以上	62	6.5	59.7

◆世帯構成別、同居の子どもも有無別

- ・世帯構成別でみると、「子どもの母校である」は二世代の世帯（24.1％）が2割台半ばとなっている。単身世帯は「特に関わりはない」が80.0％を占める。
- ・同居の子ども有無別でみると、いる家庭は「町内会・自治会の活動の場として使うことがある」（15.0％）、「自分の母校である」（13.3％）がいない家庭に比べ4.9ポイント以上高い。いない家庭は「特に関わりはない」（57.7％）がいる家庭（40.0％）より17.7ポイント高い。

(%)

		現在、自分の子どもが通学している	子どもの母校である	自分の母校である	スポーツ活動や同好会、サークル活動の場として使うことがある	地域の防災、防犯、交通安全に関する活動の場として使うことがある	子育て、教育に関する活動（子どもの習い事、PTA活動など）の場として使うことがある	町内会・自治会の活動の場として使うことがある	地域福祉に関する活動（民生委員活動など）の場として使うことがある	各種ボランティア活動の場として使うことがある
	n									
全体	270	4.4	18.9	8.5	2.2	7.4	1.5	11.1	-	0.4
世帯構成	単身世帯	35	-	11.4	5.7	-	-	5.7	-	2.9
	夫婦のみ世帯	76	-	13.2	5.3	1.3	9.2	14.5	-	-
	二世代の世帯	145	7.6	24.1	11.0	2.8	7.6	9.7	-	-
	三世代の世帯	8	12.5	25.0	-	-	12.5	12.5	-	-
	その他	5	-	-	20.0	20.0	20.0	40.0	-	-
子ども同居の有無	いる	60	20.0	20.0	13.3	5.0	10.0	3.3	15.0	-
	いない	208	-	18.8	6.7	1.4	6.3	1.0	10.1	0.5

		n	その他	特に関わりはない	無回答
全体		270	6.7	53.7	0.7
世帯構成	単身世帯	35	2.9	80.0	-
	夫婦のみ世帯	76	11.8	56.6	1.3
	二世代の世帯	145	5.5	46.2	0.7
	三世代の世帯	8	-	50.0	-
	その他	5	-	40.0	-
子ども同居の有無	いる	60	3.3	40.0	-
	いない	208	7.7	57.7	1.0

◆学校との距離別

- ・「子どもの母校である」と「自分の母校である」は距離に近いほど割合が高い。
- ・「地域の防災、防犯、交通安全に関する活動の場として使うことがある」は半径500m以内（14.0%）が1割台、「町内会・自治会の活動の場として使うことがある」は半径250m以内～半径1km以内が1割台となっている。
- ・「特に関わりはない」は半径1km以内（58.2%）が5割台後半、半径1kmより外（79.6%）が約8割を占める。

注）学校との距離（問13）の回答結果は33ページ参照。

(%)

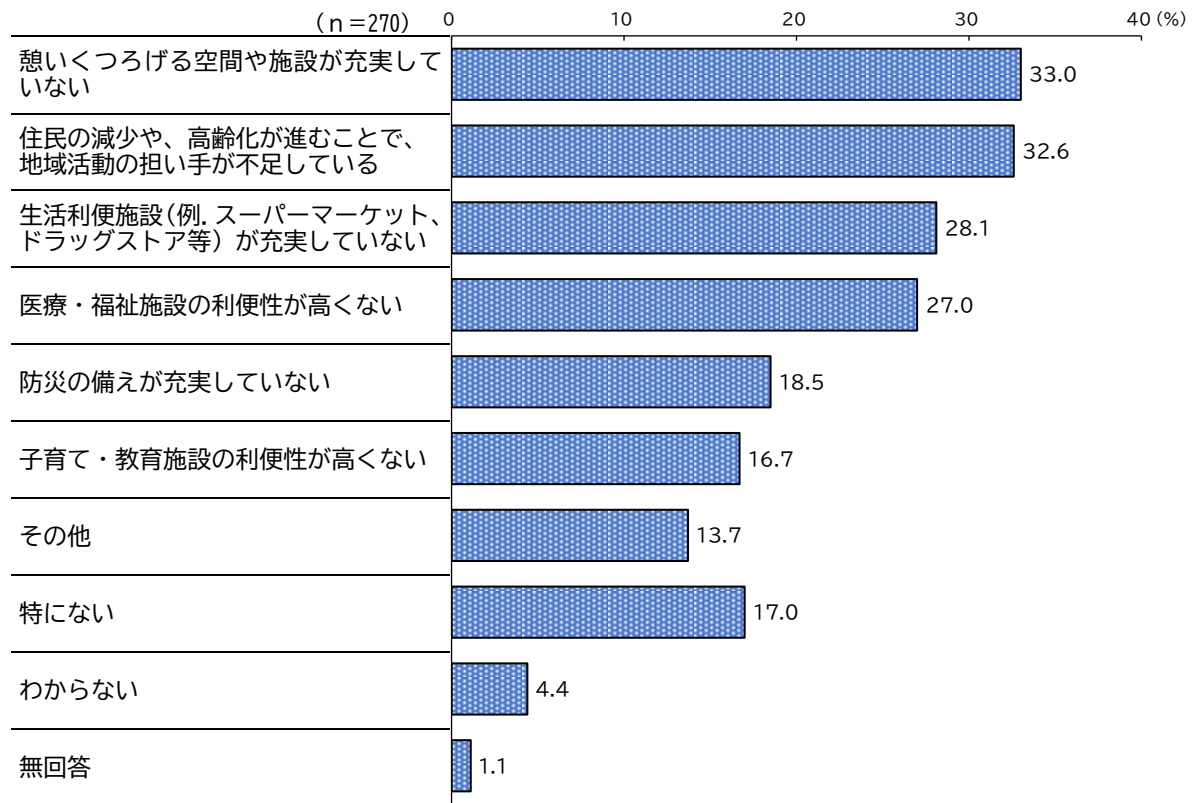
	n	現在、自分の子どもが通学している	子どもの母校である	自分の母校である	スポーツ活動や同好会、サークル活動の場として使うことがある	地域の防災、防犯、交通安全に関する活動の場として使うことがある	子育て、教育に関する活動(子どもの習い事、PTA活動など)の場として使うことがある	町内会・自治会の活動の場として使うことがある	地域福祉に関する活動(民生委員活動など)の場として使うことがある	各種ボランティア活動の場として使うことがある
全体	270	4.4	18.9	8.5	2.2	7.4	1.5	11.1	-	0.4
学校との距離										
半径250m以内	35	5.7	37.1	20.0	2.9	2.9	-	14.3	-	-
半径500m以内	50	6.0	28.0	16.0	4.0	14.0	-	12.0	-	-
半径1km以内	122	5.7	12.3	4.9	0.8	8.2	3.3	13.1	-	0.8
半径1kmより外	54	-	9.3	3.7	1.9	1.9	-	5.6	-	-

	n	その他	特に関わりはない	無回答
全体	270	6.7	53.7	0.7
学校との距離				
半径250m以内	35	5.7	37.1	-
半径500m以内	50	12.0	28.0	-
半径1km以内	122	6.6	58.2	0.8
半径1kmより外	54	3.7	79.6	-

2. 地域課題の認識について

(1) 居住地域の課題

問8 お住まいの地域（町田市本町田）で、「不便さ」や「住みづらさ」を感じていること、課題として感じていることはありますか。（いくつでも）



- ・「憩いくつろげる空間や施設が充実していない」（33.0%）と「住民の減少や、高齢化が進むことで、地域活動の担い手が不足している」（32.6%）が3割を超えて高い。
- ・「生活利便施設（例. スーパーマーケット、ドラッグストア等）が充実していない」（28.1%）と「医療・福祉施設の利便性が高くない」（27.0%）が2割台後半、「防災の備えが充実していない」（18.5%）、「子育て・教育施設の利便性が高くない」（16.7%）が1割台後半となっている。
- ・「その他」（13.7%）の回答としては、「公共交通機関（バスの便が少ない、バス停が遠いなど）」、「道路整備（道が狭い、信号機・街灯の設置など）」、「交通（交通量が多い、車・バイクの騒音など）」、「公園・体育施設（公園が少ない、体育施設があれば利用したいなど）」、「飲食店が少ない」、「坂が多い」、「住所表記は番地より丁目の方がわかりやすい」などが挙げられている。

◆性別、年齢別

- ・性別でみると、「住民の減少や、高齢化が進むことで、地域活動の担い手が不足している」は男女とも3割を超える。「憩いくつろげる空間や施設が充実していない」と「防災の備えが充実していない」は女性の方が男性より8.0ポイント以上高く、「子育て・教育施設の利便性が高い」も女性の方が男性より5.9ポイント高い。
- ・年齢別でみると、「憩いくつろげる空間や施設が充実していない」は70歳以上が4割台、40歳代と50歳代が3割台となっている。「住民の減少や、高齢化が進むことで、地域活動の担い手が不足している」は50歳代と70歳以上が3割台後半と高い。「生活利便施設（例、スーパーマーケット、ドラッグストア等）が充実していない」は50歳代が3割台半ば、「医療・福祉施設の利便性が高い」は40歳代と50歳代が3割前後、「防災の備えが充実していない」は50歳代が2割台半ばとなっている。「子育て・教育施設の利便性が高い」は40歳代が3割台半ば、30歳代以下が2割台半ばとなっている。

(%)

		憩いくつろげる空間や施設が充実していない	住民の減少や、高齢化が進むことで、地域活動の担い手が不足している	生活利便施設（例、スーパーマーケット、ドラッグストア等）が充実していない	医療・福祉施設の利便性が高い	防災の備えが充実していない	子育て・教育施設の利便性が高い	その他	特になし	わからない	無回答
	n										
全体	270	33.0	32.6	28.1	27.0	18.5	16.7	13.7	17.0	4.4	1.1
性別	男性	27.3	32.3	29.3	24.2	14.1	13.1	15.2	17.2	5.1	-
	女性	36.2	33.7	27.6	28.8	22.1	19.0	11.7	17.8	4.3	1.8
	選択せず	37.5	12.5	25.0	25.0	-	12.5	37.5	-	-	-
年齢	30歳代以下	25.0	18.2	27.3	20.5	11.4	25.0	15.9	15.9	9.1	-
	40歳代	38.6	31.8	29.5	29.5	15.9	34.1	11.4	9.1	4.5	-
	50歳代	31.0	38.0	35.2	31.0	26.8	14.1	15.5	12.7	2.8	-
	60歳代	25.0	31.3	18.8	22.9	16.7	6.3	14.6	27.1	2.1	2.1
	70歳以上	43.5	38.7	27.4	27.4	16.1	9.7	11.3	21.0	4.8	3.2

◆世帯構成別、同居の子どもも有無別

- ・世帯構成別でみると、「憩いくつろげる空間や施設が充実していない」は夫婦のみ世帯が4割を超えている。「子育て・教育施設の利便性が高くない」は二世帯世帯が2割台と高い。
- ・同居の子どもも有無別でみると、「子育て・教育施設の利便性が高くない」はいる家庭が35.0%で、いない家庭（11.5%）より23.5ポイント高い。

(%)

		n	憩いくつろげる空間や施設が充実していない	住民の減少や、高齢化が進むことで、地域活動の担い手が不足している	生活利便施設(例. スーパーマーケット、ドラッグストア等)が充実していない	医療・福祉施設の利便性が高くない	防災の備えが充実していない	子育て・教育施設の利便性が高くない	その他	特にな	わからない	無回答
全体		270	33.0	32.6	28.1	27.0	18.5	16.7	13.7	17.0	4.4	1.1
世帯構成	単身世帯	35	22.9	22.9	20.0	17.1	8.6	5.7	20.0	22.9	5.7	5.7
	夫婦のみ世帯	76	40.8	35.5	30.3	31.6	21.1	7.9	18.4	17.1	3.9	1.3
	二世帯の世帯	145	33.1	32.4	30.3	27.6	20.0	23.4	11.0	15.2	3.4	-
	三世帯の世帯	8	-	37.5	25.0	12.5	12.5	37.5	-	25.0	-	-
	その他	5	40.0	40.0	-	40.0	20.0	-	-	20.0	40.0	-
同居の子ども	いる	60	35.0	30.0	28.3	26.7	18.3	35.0	13.3	8.3	6.7	-
	いない	208	32.7	33.7	27.9	27.4	18.8	11.5	13.5	19.7	3.8	1.4

◆学校との距離別

- ・「憩いくつろげる空間や施設が充実していない」は半径500m以内と半径1km以内が3割台となっている。
- ・「住民の減少や、高齢化が進むことで、地域活動の担い手が不足している」は距離が遠いほど割合が高い。
- ・「生活利便施設（例. スーパーマーケット、ドラッグストア等）が充実していない」と「医療・福祉施設の利便性が高くない」は距離が近いほど割合が高い。

注）学校との距離（問13）の回答結果は33ページ参照。

(%)

		n	憩いくつろげる空間や施設が充実していない	住民の減少や、高齢化が進むことで、地域活動の担い手が不足している	生活利便施設(例. スーパーマーケット、ドラッグストア等)が充実していない	医療・福祉施設の利便性が高くない	防災の備えが充実していない	子育て・教育施設の利便性が高くない	その他	特にな	わからない	無回答
全体		270	33.0	32.6	28.1	27.0	18.5	16.7	13.7	17.0	4.4	1.1
学校との距離	半径250m以内	35	22.9	20.0	42.9	34.3	14.3	22.9	17.1	14.3	-	-
	半径500m以内	50	34.0	28.0	34.0	32.0	14.0	12.0	12.0	12.0	6.0	-
	半径1km以内	122	36.9	36.1	26.2	28.7	21.3	19.7	12.3	17.2	4.1	1.6
	半径1kmより外	54	29.6	38.9	20.4	16.7	18.5	11.1	18.5	16.7	5.6	1.9

(2) 居住地域に不足している施設や機能・サービス

問9 お住まいの地域（町田市本町田）には、どのような施設や機能・サービスが不足していると思いますか。不足しているものがないと思われる場合、未記入で構いません。（自由記述）

居住地域に不足している施設や機能・サービス	回答数 (n=155)
生活利便施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ホームセンターなど）／商業施設	55
子どものための施設（遊べる場所、保育園など）／子育て支援	28
病院・診療所	27
憩いくつろげる施設／コミュニティセンター（市民が自由に使える施設、地域交流の場など）	24
公共交通機関／バス（本数が少ない、バス停が遠いなど）	22
公園／スポーツ施設・スポーツができる公園／ドッグラン	19
高齢者のための施設（高齢者施設、交流できる場など）／高齢者支援	19
飲食店／外食できる場所	15
避難施設／防災設備	13
図書館／博物館	12
道路整備（街灯、信号機など）	9
映画館	5
銀行	5
市役所の出張所	4
福祉施設／障害者施設	4
その他	19

注) n数は問9の回答者数（「特になし」などは除く）。

注) 回答に複数の項目が挙げられていた場合は、それぞれの項目にカウントしている。

以下に主な回答を掲載する。

なお、回答の趣旨を損なわない範囲で表現を一部変えているものもある。

生活利便施設／商業施設

- ・スーパーマーケットが小規模すぎる。子育て世帯が買い物するには品物、種類が不足していて、ある程度のもを購入するには、車で20～30分の移動が必要。（30歳代）
- ・若者（新規入居者）が行きたくなる、行きやすい商業施設。（30歳代）
- ・コンビニの数が少ない。スーパーマーケットの数が少ない。ドラッグストアの数が少ない。（40歳代）
- ・ホームセンターが不足していると思う。（60歳代）
- ・高齢になると日常の食糧品買出しが難しくなる。現在、自転車を利用しているが、次第に困難になることが予想される。近くにスーパーがあると助かる。（70歳以上）

子どものための施設／子育て支援

- ・子どもがのびのびと遊べる場所が少ない。近年は猛暑で外で遊ぶことが危険になっているため、屋内で遊べる場所がなく、子どもたちがかわいそう。（20歳代）
- ・公園の遊具が少ない。以前閉鎖していた公園が再整備されたが、乳児には高すぎるすべり台ぐらいしかなく、子どもが安全に使えるとは思えない。また、その他の小さい公園も雑草が多く、人目もなく危ない。（30歳代）
- ・町田第三小学校から町田駅の間に保育園がない。周辺にも少ない。（40歳代）
- ・子どもの遊び場（子どもセンター、まあち、ぱお、つるっこ）や地域子育て相談センターがほしい。（70歳以上）

病院・診療所

- ・近くに市民病院があるが、高度病院とは言えない。がん拠点病院が市内に欲しい。（50歳代）
- ・近くに病院がない。内科や整形外科など、本町田小学校周辺に作ってほしい。できれば医療モールがあれば、あちこち行かなくてすむのでお願いしたい。（50歳代）
- ・大きな病院が市民病院だけでもっと大病院がほしい。高齢化が進むことで車で通院することも困難になってくる。早く利便性を高くしてほしい。（70歳以上）

憩いくつろげる施設／コミュニティセンター

- ・地域の人が気軽に集える場所。（40歳代）
- ・市民が自由に使える遊戯施設。（50歳代）
- ・運動したり、手作りしたり、色んな体験できる場所があると嬉しい。（60歳代）
- ・憩いくつろげる施設がほしい。スーパー銭湯のくつろぎ室のような。近年の酷暑除け、避暑（寒）施設として一人暮らしの人や共働き家庭の子どもたちも気軽に利用できる施設を希望。（70歳以上）

公共交通機関／バス

- ・バス停。見通しの悪いところに信号やカーブミラーの設置がない場所が多い。（30歳代）
- ・駅から遠く、公共交通はバスだけだが便数が毎年減り続けている。（40歳代）
- ・コミュニティバスがない。坂が多く大変。（70歳以上）

公園／スポーツ施設・スポーツができる公園／ドッグラン

- ・大きな公園がほしい。小さくてすべり台が1つだったりする公園はあるが、広々した公園がほしい（忠生スポーツ公園のような）。学校をなくすなら、せめて子どもの施設にしてほしい。（30歳代）
- ・大きなドッグランが町田市内はあまりないのであると良い。（30歳代）
- ・スポーツ施設（特にサッカー・野球・ラグビー等、広い敷地を必要とするグラウンド等）。（30歳代）
- ・体育施設があれば利用したい。若者たちのスケートボードの練習施設もあればよい。（70歳以上）

高齢者のための施設／高齢者支援

- ・高齢者（一人で住んでいる人など）に対し手厚くサポートしてほしい。災害時の水や食料、トイレなどの備えが、どこにどのくらい何があるのかを自治会に入っていない人でもわかるようにしてほしい。（10歳代）
- ・高齢化社会なので、高齢者が交流できる場があると良いと思う（特に申請や予約などしなくても気軽に立ち寄れるような場所）。（50歳代）
- ・高齢者支援の為の施設が身近にあってもよい。又、体力維持の為の福祉施設としての利用もあって良いのでは。高齢者の交流の場、デイケア的なものが不足している。（70歳以上）

飲食店／外食できるところ

- ・飲食店の閉店時間がもう少し遅いお店が増えてくれると嬉しい。（40歳代）
- ・大勢で集まれるレストランが少ない。（60歳代）

避難施設／防災設備

- ・災害時に避難できるような安全で備蓄のある施設。（10歳代）
- ・災害時に避難、支援の拠点となる場所まで遠く十分ではないと思う。（20歳代）
- ・防災を意識した施設がない（防災公園など）。（40歳代）
- ・災害発生時の避難場所、防災備品、避難経路案内、避難訓練など、増加する高齢者の避難方法（本町田は坂が多い）。（60歳代）

図書館／博物館

- ・小さくても良いので図書館があると良いと思う。（40歳代）
- ・市立博物館がなくなったのも寂しい。（60歳代）

道路整備

- ・今井谷戸の交差点から藤の台団地の間まで信号機がなく、信号機のない場所で高齢者が横断していて危険を感じる。この区間はかなり距離もあるため、信号機があればと感じる。（50歳代）
- ・暗い道もあるので、明るい街灯をつけてほしい。歩いて帰る時に裏道とか使うと街灯が暗いところがある。（無回答）

映画館

- ・個人的には映画館が欲しい。自分は映画を見る時わざわざ多摩まで行って見に行っている。（10歳代）

銀行

- ・銀行がATMのみになってしまい、通帳の再発行、両替など駅まで出ないとできず、年配者には不便になった。（70歳以上）

市役所の出張所

- ・市民センター。今の所は小さくてできるものも少ない。マイナンバーカードの更新等もっとできることを多くしてほしい。（60歳代）

福祉施設／障がい者施設

- ・障がい者施設やデイケアなどの福祉施設が不足している。障がいを抱えた子どもを持つ親が少しでも息抜きができる街になってほしい。（40歳代）

その他

- ・パーキングが少ない。（30歳代）
- ・車や自転車を停める場所がないため、友だちや親族に遊びに来てもらいにくい。（40歳代）
- ・コインランドリーが少ない。家電量販店が近くに全くない。（50歳代）
- ・自転車の放置やゴミの投棄など治安面に不安を感じる。防犯カメラの設置を望む。（50歳代）

3. 町田第三小学校跡地活用について

(1) 町田第三小学校跡地にあると良い施設や機能・サービス

問10 町田第三小学校の跡地に、どのような施設や機能・サービスがあると良いと思いますか。
(自由記述)

町田第三小学校跡地にあると良い施設や機能・サービス	回答数 (n=174)
子どものための施設	51
避難施設／防災設備	46
コミュニティセンター／市民センター／憩いくつろげる施設	43
スポーツ施設／体育館／運動場	41
公園／農園	36
医療・福祉施設	22
生活利便施設や商業施設	22
図書館／自習室	20
高齢者のための施設	18
飲食店／カフェ	13
その他	15

注) n数は問10の回答者数(「わからない」などは除く)。

注) 回答に複数の項目が挙げられていた場合は、それぞれの項目にカウントしている。

以下に主な回答を掲載する。

なお、回答の趣旨を損なわない範囲で表現を一部変えているものもある。

子どものための施設

- ・子育てに関する施設があると良い気がする。(20歳代)
- ・まあち、ただONのような放課後や土日に子どもだけでも集まれる安全な施設。(40歳代)
- ・大きな学童保育として職員とボランティアで子どもの成長の助けになるような施設で、子育て支援になるとよいと思う。(50歳代)
- ・子どもや親子が集い、安心して遊べる広場。(50歳代)
- ・防災設備が充実している、子どもとシニアのための施設(まあちは遠いため)と学童保育(継続)の併設。(50歳代)
- ・近くにはひなた村もあるが、そこを補完するような子どもがスポーツできるような施設にして欲しい。子ども中心に考えた施設にして欲しい。(60歳代)

避難施設／防災設備

- ・災害時に避難所としての拠点としての機能に加えて、十分な備蓄を兼ね備えるべきだと思う。(20歳代)
- ・災害時の避難等での利用も兼ねられるような施設があると安心。周辺の道が狭く車の出入りも不便な場所なので道路整備もされると利用しやすいと思う。(40歳代)

- ・災害時の炊き出しのしやすさ目的で、ピザがま、バーベキューコーナー。市民で平時から慣れておく効果も。ベンチはかまどになるものやトイレになるものなど。（50歳代）
- ・ひなた村と用途が重複しない、市民が使える施設。避難所など。（50歳代）
- ・防災対策の地としてはあまりよくない場所ではあるが、地震や台風の多い昨今、一つでも多くの避難場所があると安心なので、今の校庭にたくさんの避難テントや炊き出しができるようにしてほしい。（50歳代）
- ・本町田地区全体を対象とした広い避難所や長期化した場合の仮設住宅、必要な物資の保管場所などに利用するのがよいと思うが、地理的に難しい。（70歳以上）

コミュニティセンター／市民センター／憩いくつろげる施設

- ・災害時に避難所として機能する施設。年代関係なく地域の住民が交流ができる場。（20歳代）
- ・土砂災害の危険のない部分だけでも普段は市民の憩いの場所として、災害時には避難場所として利用できる建物があたらいいと思う。（40歳代）
- ・自然と触れ合うことができる公園、町内会・自治会が使える施設、盆踊りの会場があるとよいと思う。（50歳代）
- ・自治会のイベント会場。各地域にある自治会館をまとめる。（60歳代）
- ・住民が集うことができ、交流もできるようなコミュニティ施設、文化センター的な機能があると良いと考える。できれば、山崎団地や成瀬にあるようなセンター的な機能も。（70歳以上）

スポーツ施設／体育館／運動場

- ・子どもたちがボールを使って遊ぶ場が町田は少なくなっていまい、この先の子どもたちが心配。子どもだけでなく、皆で使える体を動かしたりもできる施設があるとよい。また、三小は自然豊かな所もよかったので、残してほしい。（40歳代）
- ・子どもが走り回ったり、スポーツができる場所。ドッグラン等もあると良い。（60歳代）
- ・子どもから大人まで利用できるスポーツ体育館。（60歳代）

公園／農園

- ・公園。レジャー施設。（20歳代）
- ・小～大型犬まで遊べるドッグラン（エリアを分けてもらえると嬉しい）。雨の日はドッグランを利用する人はあまりいないと思うので、災害とかも気にしなくて良いと思う。小学校がなくなって地域交流が減るというなら、犬を通しての地域の交流の場にしても良いと思う。地面だけ芝にすればあまりお金もかからずにできると思う。（30歳代）
- ・町田シバヒロのような草地の公園。あえて何か建てる必要はない。植樹等で暴風や水災害を防ぐことが可能ならそれもアリだが、土砂災害が考えられるなら芝地でよい。（40歳代）
- ・土地利用に制限のあるエリアだけに無理な開発はせずに防災拠点の機能を残しつつ、誰でも気軽に利用できるようにアウトドア施設として、バーベキューやキャンプ、観光農園など一年を通して市民が楽しめる施設などだろうか。（50歳代）
- ・建物ではなく、公園か広場にしておいて多目的に自由のきく場所にしておくのも1つの考えと思う。（70歳以上）
- ・駐車場付の公園がほしい。（70歳以上）

医療・福祉施設

- ・静かな住宅地で商業目的での土地利用に規制があることから社会的に一番不足している介護、福祉施設が良いように思う。医療機関が併設できるならとても便利だと思う。（40歳代）
- ・救急病院ができると良い。（50歳代）
- ・町田市の人口からして大規模な総合病院の施設（国立または都立や大学病院）の誘致。（70歳以上）

生活利便施設や商業施設

- ・災害等の基盤をしっかりした上で、スーパー一体型の総合施設。（30歳代）
- ・ショッピングモール。（50歳代）
- ・道の駅（野菜、カフェ、花屋他）。緑の中に囲まれたくつろげる食べるお店。（50歳代）
- ・町田駅周辺には映画館やイオンモールのような大規模商業施設がない。そこで、娯楽施設など多目的な施設を作ったら良いと思う。（70歳以上）

図書館／自習室

- ・スポーツジム、ワークスペース、自習室、図書館。（50歳代）
- ・図書館的な本のある場所。さがまちカレッジのように勉強になる施設。（60歳代）

高齢者のための施設

- ・いつも近隣のコメダ珈琲が高齢者でいっぱいなのでそういう場所を作れば良いと思う。家族などに相談できず、行政や福祉のサービス情報につながらない「情報弱者」と呼ばれるお年寄りが非常に多いのでインターネットではない情報の中心になればよい。（40歳代）
- ・ショートステイに特化した老人等介護施設。（50歳代）
- ・特別養護老人ホームができると良い。その敷地に災害時などに避難できるようにするとか、桜美林大学ひなたやまキャンパス内にあるカフェのような、誰でも利用できるサービスを設けるとか。（50歳代）
- ・高齢者へのレクリエーション施設及び体育用の施設。（70歳以上）

飲食店／カフェ

- ・車で行ける子どもの遊び場、休憩できるカフェ、軽食店併設。災害時には避難所に使えるようにする。（50歳代）
- ・スポーツジム。地域の親睦のためのカフェ。子ども食堂。（60歳代）
- ・年金暮らしのため安い喫茶、食事処がほしい。特に朝早くのモーニングサービスがほしい。（70歳以上）

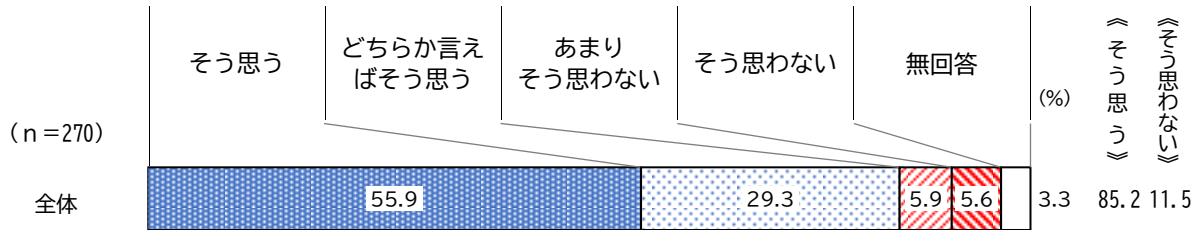
その他

- ・遊ぶ場所など町田市が活性するような場所に。例えば、ポケモンセンター、ポケモンの森みたいな人がくる施設。（10歳代）
- ・住宅地。（50歳代）
- ・レンタサイクル、レンタカーの貸し出し拠点としてほしい。（50歳代）

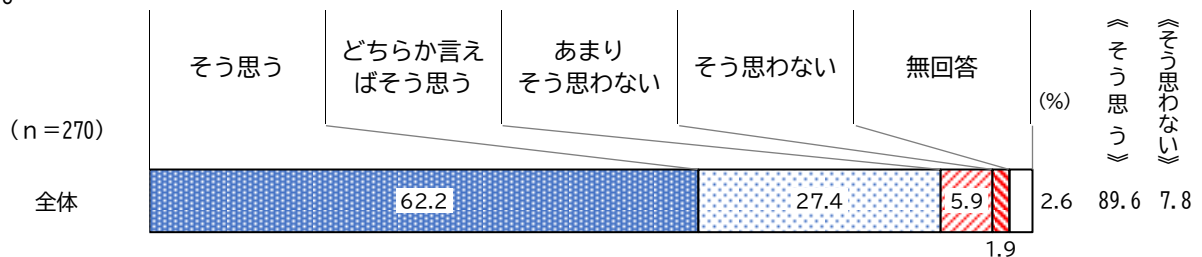
(2) 町田第三小学校跡地の活用や検討の進め方

問11 以下のような町田第三小学校跡地の活用や検討の進め方について、あなたの考えに最も近いものを選択してください。（それぞれ1つだけ）

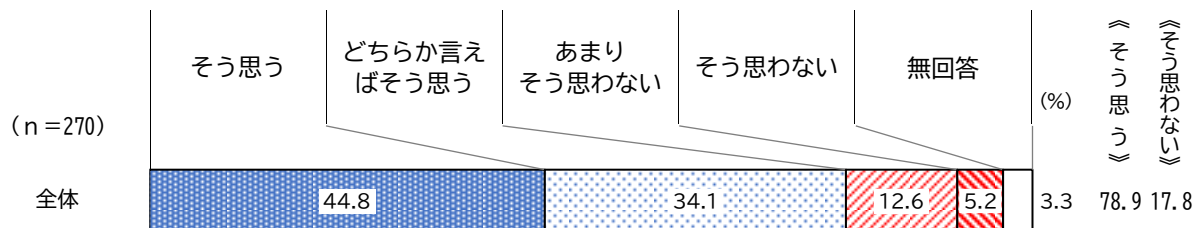
①まずは学校跡地に公的な施設や機能・サービスを設置する必要があるかどうか整理するべきである。



②学校跡地は地域住民にとって身近な場所として、多くの機能を有していることから、アンケート調査やワークショップ等により、地域住民のニーズを把握しながら検討を進めるべきである。



③学校跡地の活用にあたっては、地域の活動団体など、様々な担い手が運営に関わることができるよう、体制づくりや機運醸成を進めるべきである。

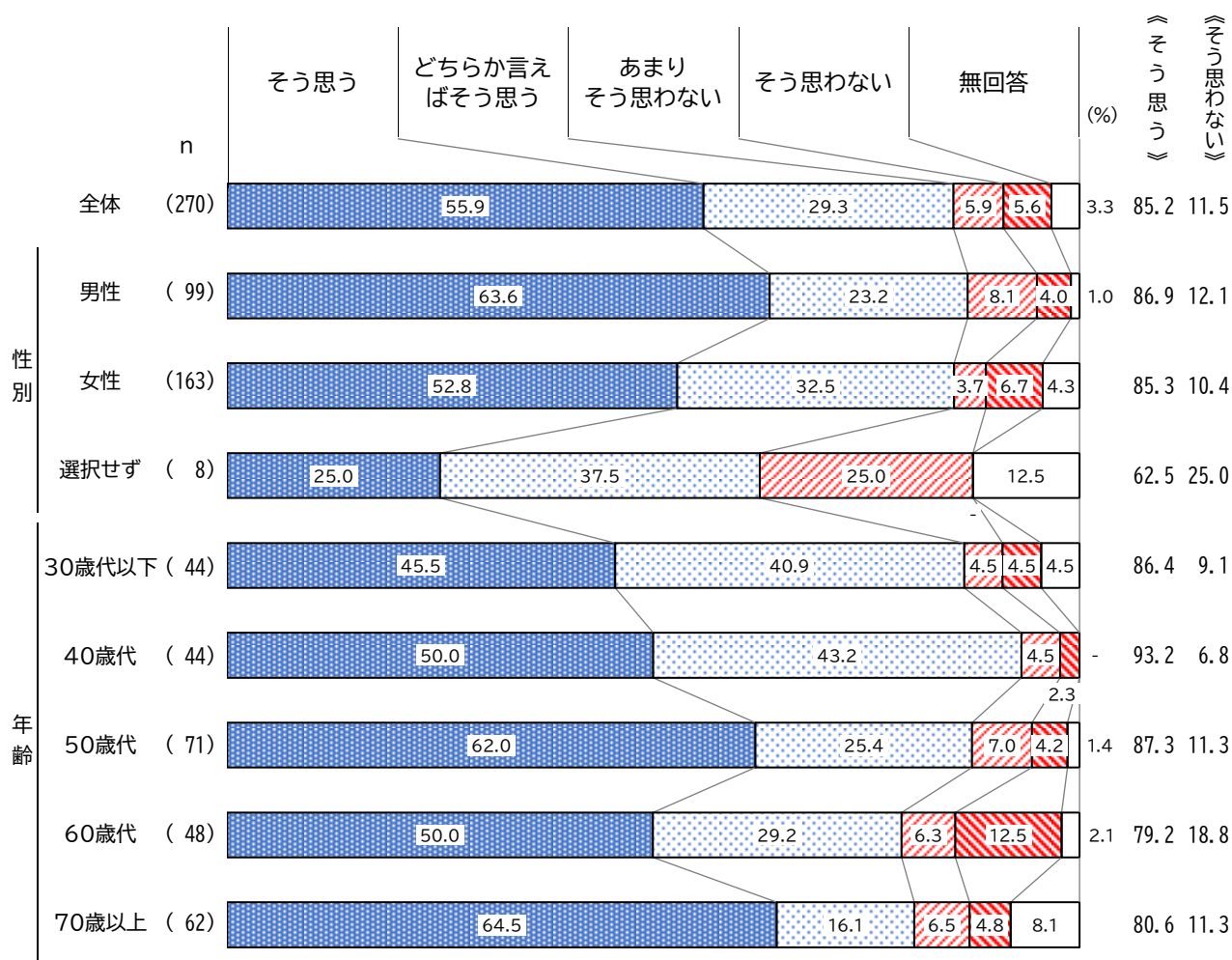


- ・①「まずは学校跡地に公的な施設や機能・サービスを設置する必要があるかどうか整理するべきである。」は「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた『そう思う』が85.2%を占める。「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』は11.5%である。
- ・②「学校跡地は地域住民にとって身近な場所として、多くの機能を有していることから、アンケート調査やワークショップ等により、地域住民のニーズを把握しながら検討を進めるべきである。」は「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた『そう思う』が89.6%を占め、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』は7.8%にとどまっている。
- ・③「学校跡地の活用にあたっては、地域の活動団体など、様々な担い手が運営に関わることができるよう、体制づくりや機運醸成を進めるべきである。」は「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた『そう思う』が78.9%、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が17.8%である。

◆性別、年齢別

①まずは学校跡地に公的な施設や機能・サービスを設置する必要があるかどうか整理するべきである。

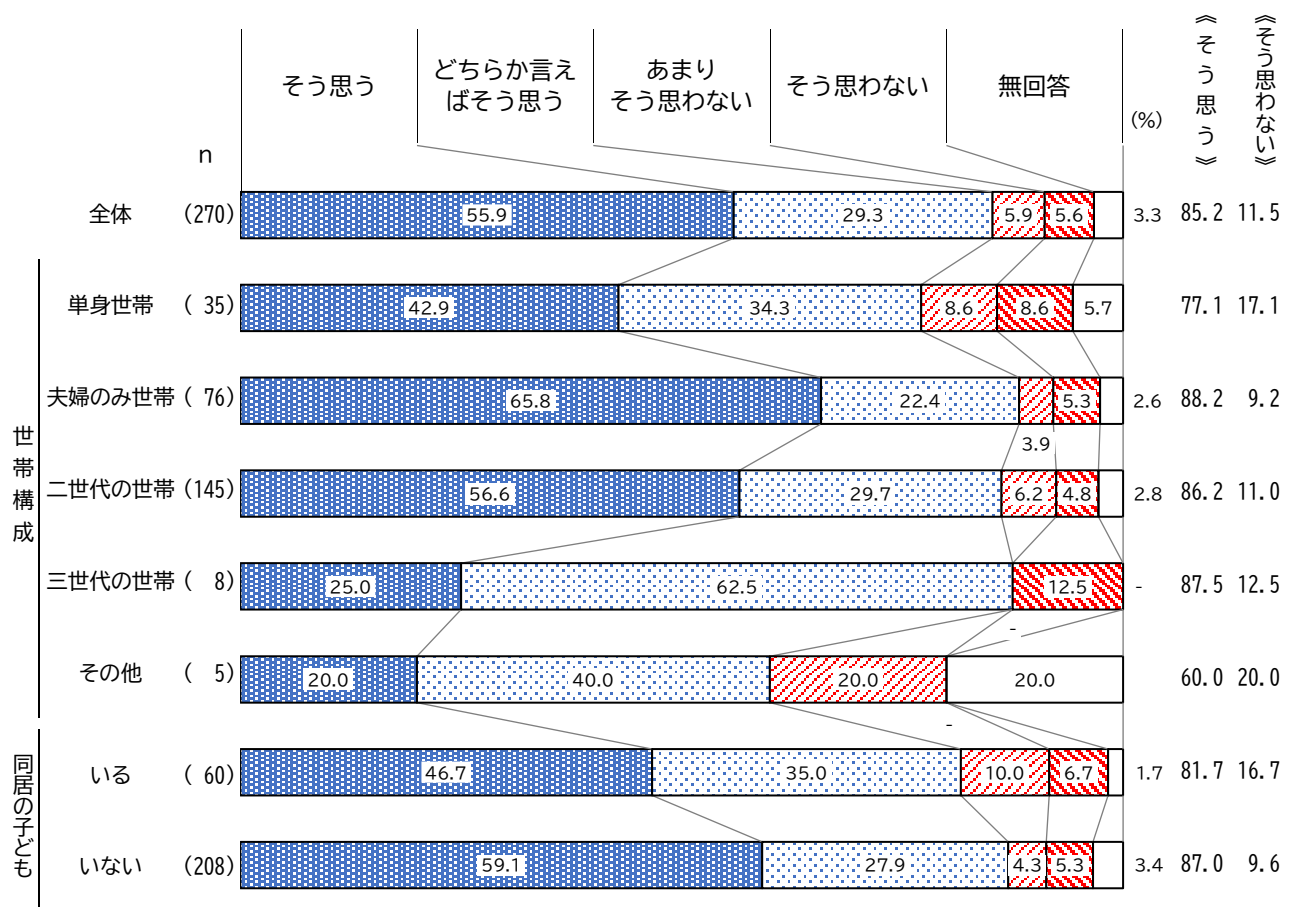
- ・性別でみると、「そう思う」は男性（63.6%）の方が女性（52.8%）より10.8ポイント高い。「そう思う」と「どちらか言えばそう思う」を合わせた『そう思う』は男女とも8割台半ばとなっている。
- ・年齢別でみると、「そう思う」は50歳代と70歳以上が6割台となっている。「そう思う」と「どちらか言えばそう思う」を合わせた『そう思う』は40歳代が9割台、30歳代以下と50歳代が8割台後半と高い。「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』は60歳代が1割台後半とやや高い。



◆世帯構成別、同居の子ども有無別

①まずは学校跡地に公的な施設や機能・サービスを設置する必要があるかどうか整理するべきである。

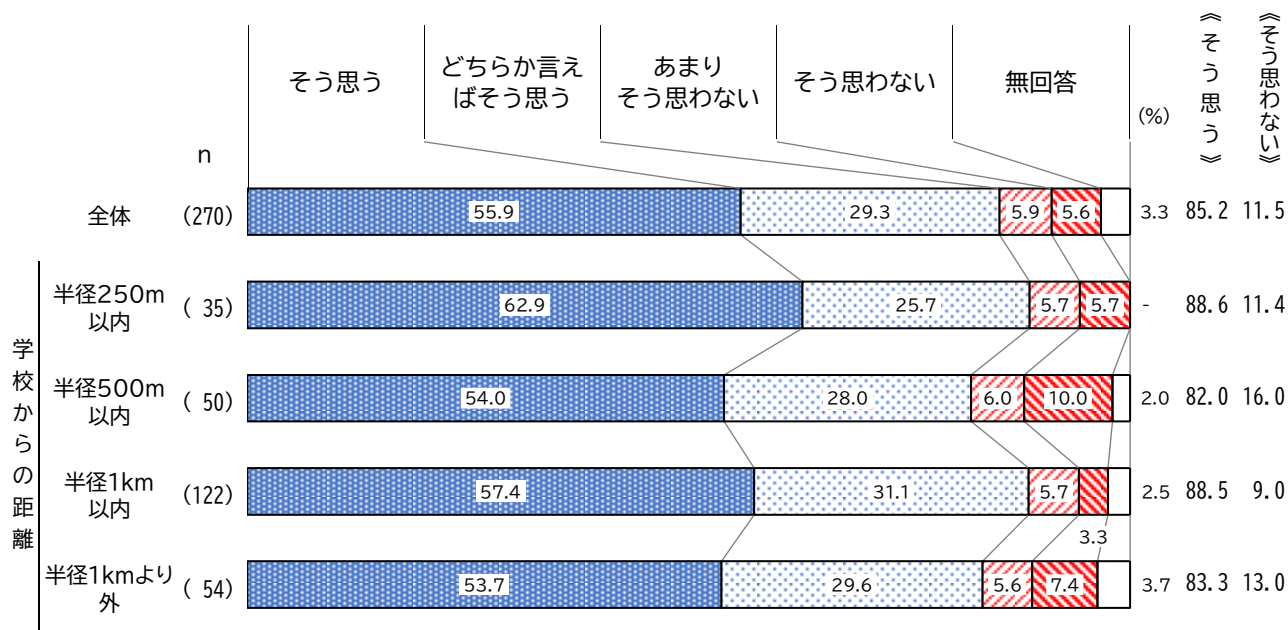
- ・世帯構成別でみると、「そう思う」は夫婦のみ世帯（65.8%）が最も高く、次いで二世代の世帯（56.6%）が高い。「そう思う」と「どちらか言えばそう思う」を合わせた『そう思う』は夫婦のみ世帯（88.2%）と二世代の世帯（86.2%）が8割台となっている。
- ・同居の子ども有無別でみると、「そう思う」はいない家庭（59.1%）がいる家庭（46.7%）より12.4ポイント高く、「そう思う」と「どちらか言えばそう思う」を合わせた『そう思う』もない家庭（87.0%）がいる家庭（81.7%）より5.3ポイント高い。



◆学校からの距離別

①まずは学校跡地に公的な施設や機能・サービスを設置する必要があるかどうか整理するべきである。

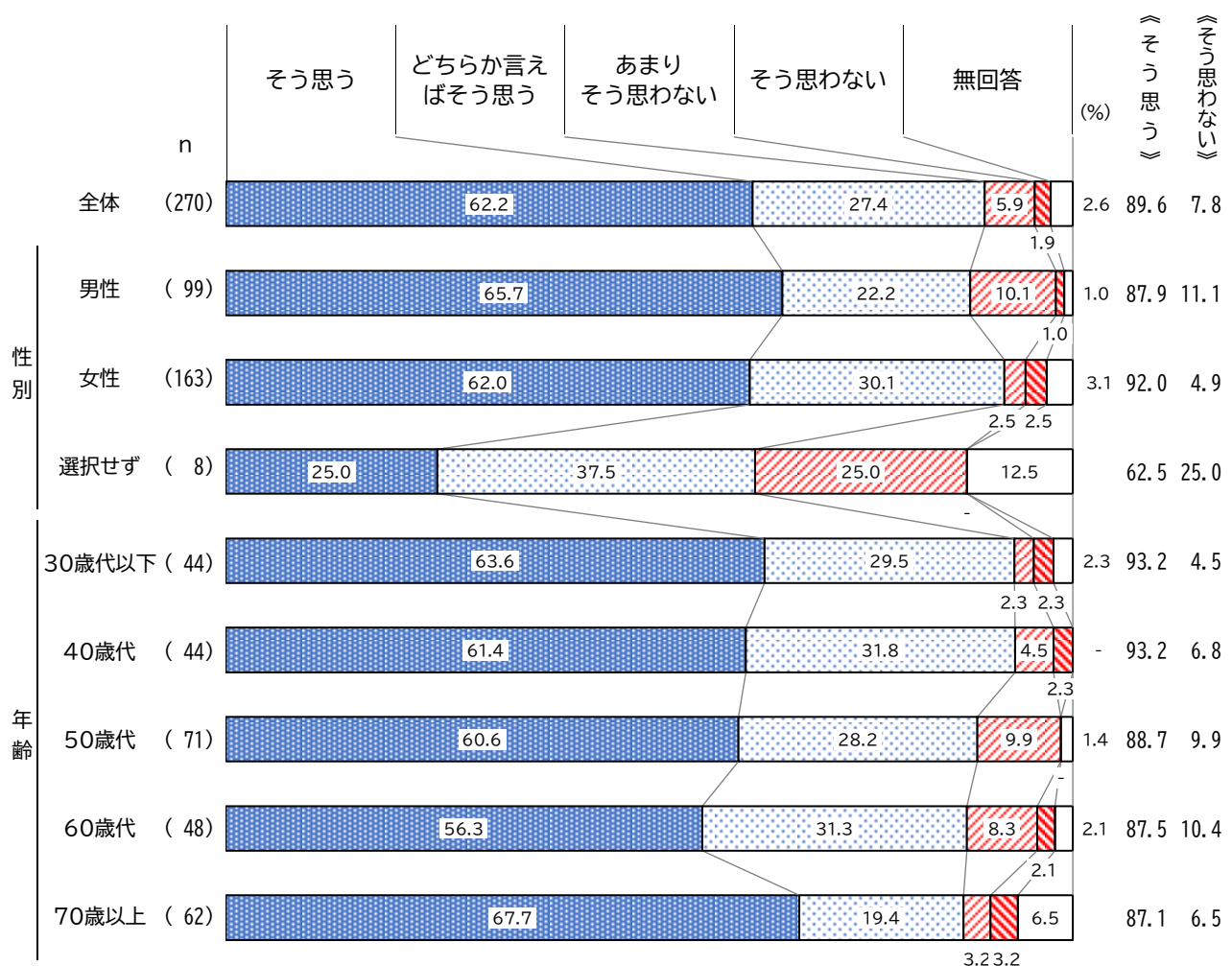
- ・「そう思う」は半径250m以内（62.9%）が最も高い。
- ・「そう思う」と「どちらか言えばそう思う」を合わせた『そう思う』は半径250m以内（88.6%）と半径1km以内（88.5%）が高い。



◆性別、年齢別

②学校跡地は地域住民にとって身近な場所として、多くの機能を有していることから、アンケート調査やワークショップ等により、地域住民のニーズを把握しながら検討を進めるべきである。

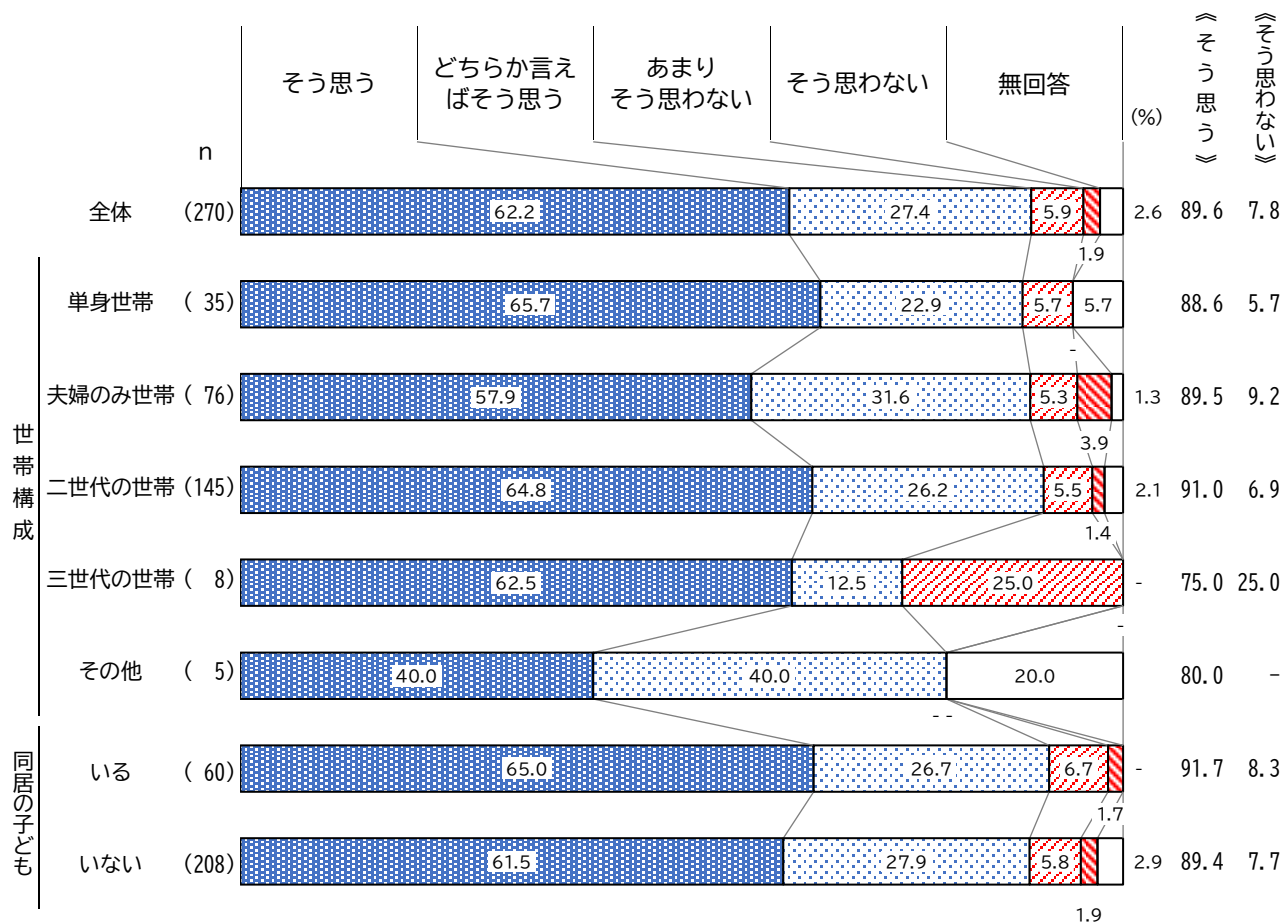
- ・性別でみると、「そう思う」は男女とも6割を超える。「そう思う」と「どちらか言えばそう思う」を合わせた『そう思う』は女性（92.0%）の方が男性（87.9%）より4.1ポイント高く、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』は男性（11.1%）の方が女性（4.9%）より6.2ポイント高い。
- ・年齢別でみると、「そう思う」は60歳代を除くすべての年代で6割を超える。「そう思う」と「どちらか言えばそう思う」を合わせた『そう思う』は40歳代以下が9割台、50歳代以上も8割台後半となっている。



◆世帯構成別、同居の子ども有無別

②学校跡地は地域住民にとって身近な場所として、多くの機能を有していることから、アンケート調査やワークショップ等により、地域住民のニーズを把握しながら検討を進めるべきである。

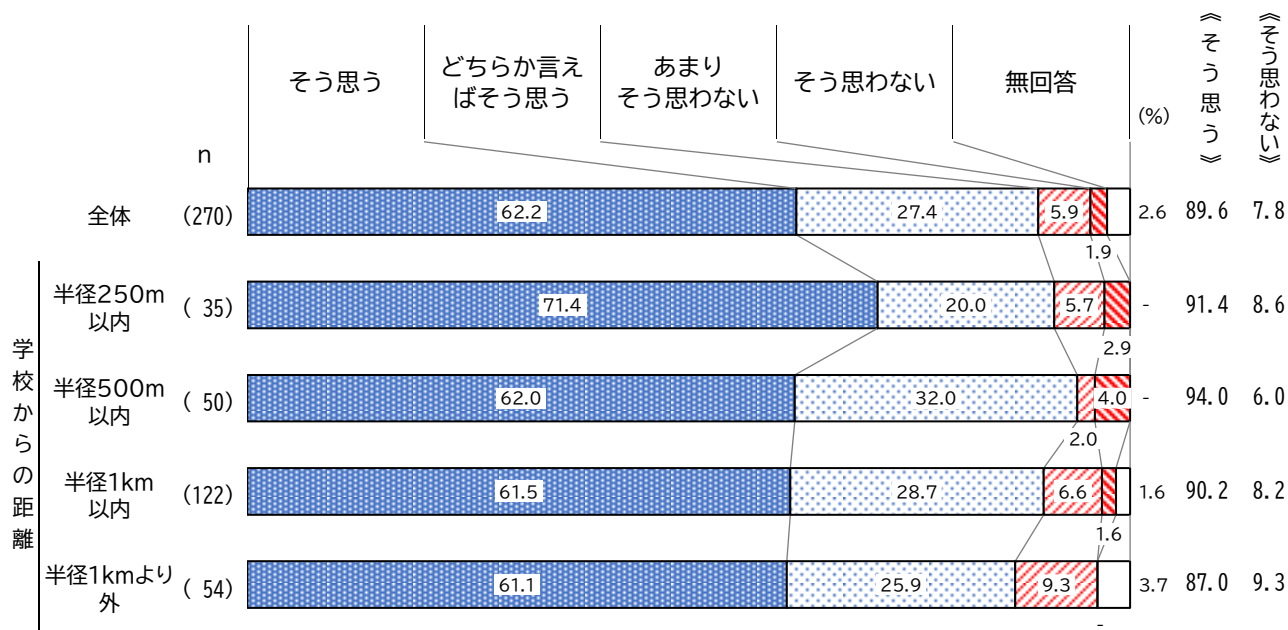
- ・世帯構成別でみると、「そう思う」は単身世帯(65.7%)が最も高く、次いで二世代の世帯(64.8%)が高い。「そう思う」と「どちらか言えばそう思う」を合わせた『そう思う』は二世代の世帯(91.0%)が最も高い。
- ・同居の子ども有無別でみると、「そう思う」はいる家庭(65.0%)がいない家庭(61.5%)より3.5ポイント高い。



◆学校からの距離別

②学校跡地は地域住民にとって身近な場所として、多くの機能を有していることから、アンケート調査やワークショップ等により、地域住民のニーズを把握しながら検討を進めるべきである。

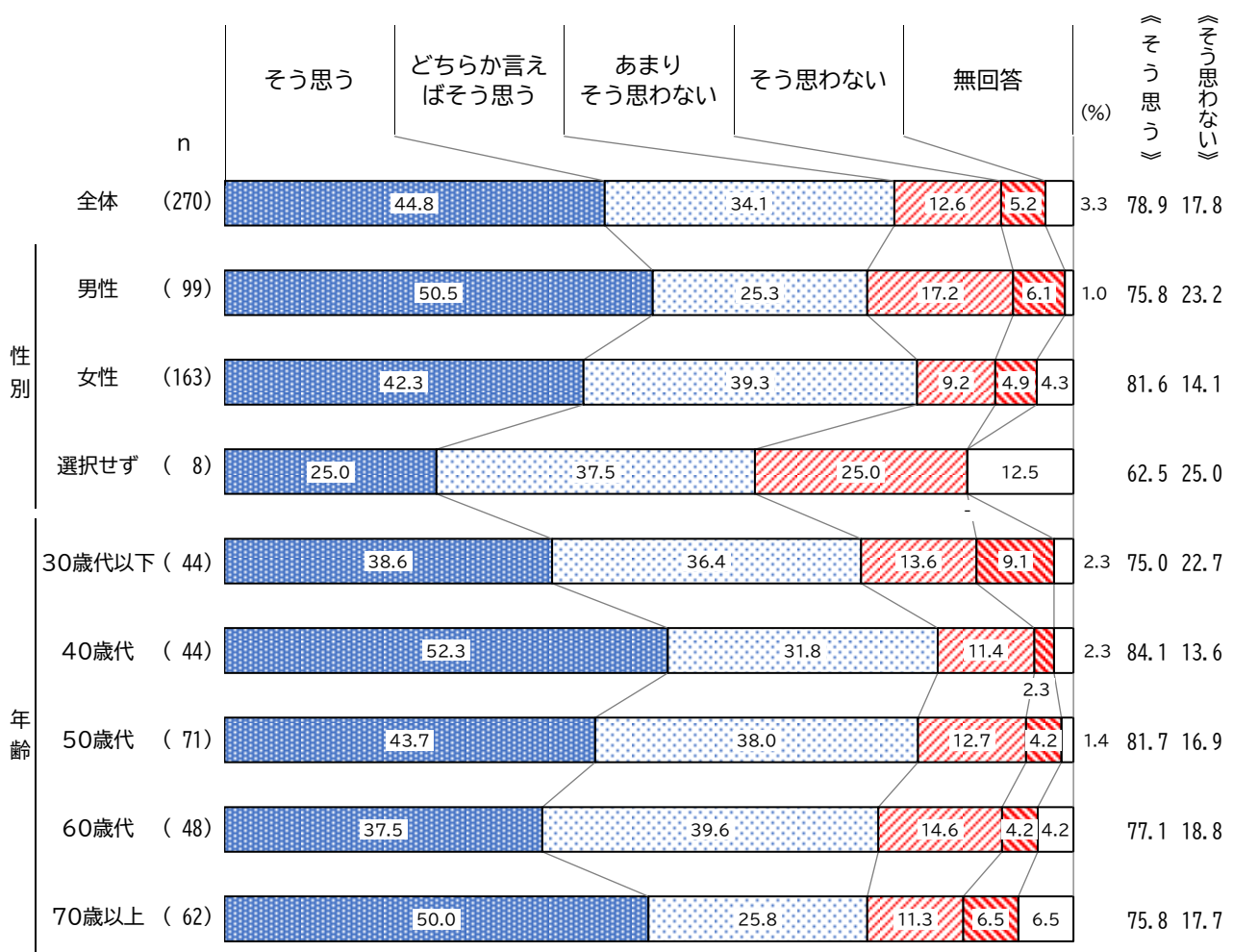
- ・「そう思う」は半径250m以内（71.4%）が最も高い。
- ・「そう思う」と「どちらか言えばそう思う」を合わせた『そう思う』は半径250m以内～半径1km以内が9割を超えて高い。



◆性別、年齢別

③学校跡地の活用にあたっては、地域の活動団体など、様々な担い手が運営に関わることができるよう、体制づくりや機運醸成を進めるべきである。

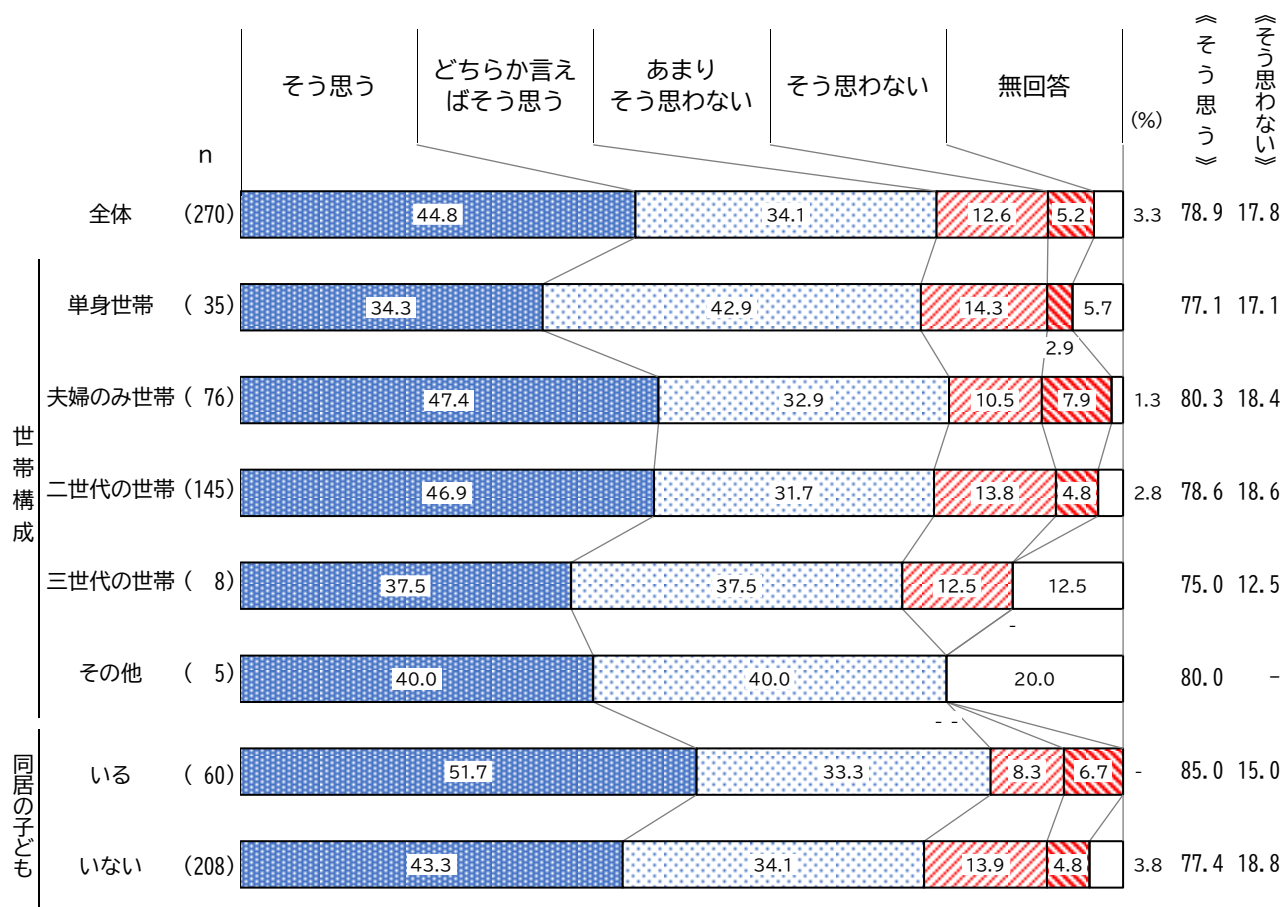
- ・性別でみると、「そう思う」は男性（50.5%）の方が女性（42.3%）より8.2ポイント高いが、「そう思う」と「どちらか言えばそう思う」を合わせた『そう思う』は女性（81.6%）の方が男性（75.8%）より5.8ポイント高い。「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』は男性（23.2%）の方が女性（14.1%）より9.1ポイント高い。
- ・年齢別でみると、40歳代は「そう思う」（52.3%）、「そう思う」と「どちらか言えばそう思う」を合わせた『そう思う』（84.1%）ともに他の年代より高い。「そう思う」と「どちらか言えばそう思う」を合わせた『そう思う』は50歳代（81.7%）も8割を超える。



◆世帯構成別、同居の子ども有無別

③学校跡地の活用にあたっては、地域の活動団体など、様々な担い手が運営に関わることができるよう、体制づくりや機運醸成を進めるべきである。

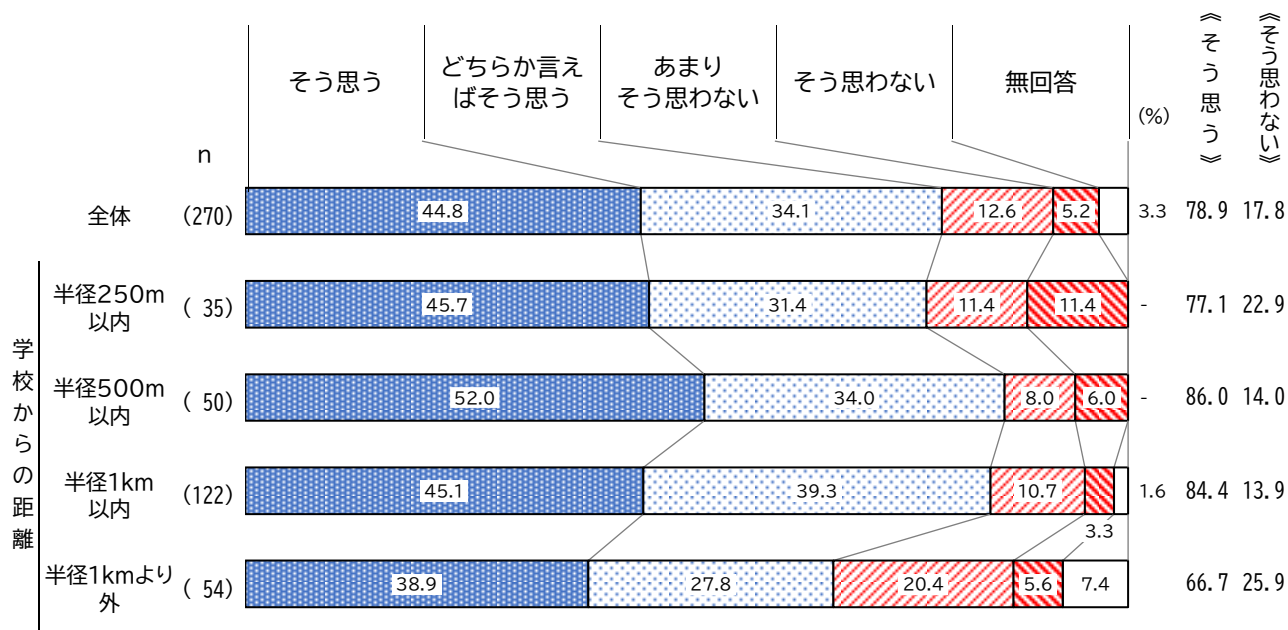
- ・世帯構成別でみると、「そう思う」は夫婦のみ世帯（47.4%）と二世代の世帯（46.9%）が4割台と高い。「そう思う」と「どちらか言えばそう思う」を合わせた『そう思う』は夫婦のみ世帯（80.3%）が最も高い。
- ・同居の子ども有無別でみると、「そう思う」はいる家庭（51.7%）がいない家庭（43.3%）より8.4ポイント高く、「そう思う」と「どちらか言えばそう思う」を合わせた『そう思う』もいる家庭（85.0%）がいない家庭（77.4%）より7.6ポイント高い。



◆学校からの距離別

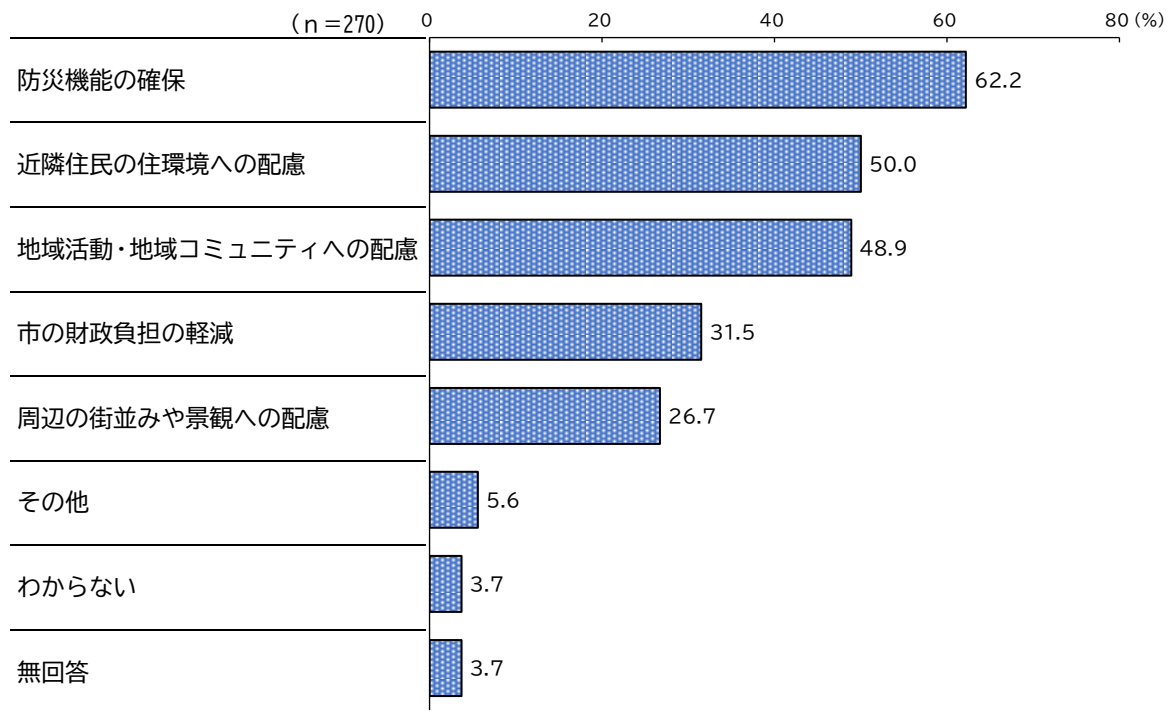
③学校跡地の活用にあたっては、地域の活動団体など、様々な担い手が運営に関わることができるよう、体制づくりや機運醸成を進めるべきである。

- ・「そう思う」は半径500m以内（52.0%）が最も高い。
- ・「そう思う」と「どちらか言えばそう思う」を合わせた『そう思う』は半径500m以内（86.0%）が最も高い。



(3) 町田第三小学校跡地の検討で留意すべきこと

問12 今後の町田第三小学校跡地活用の検討に際し、どのようなことに留意すべきだと思いますか。
(いくつでも)



- ・「防災機能の確保」(62.2%)が最も高く、次いで「近隣住民の住環境への配慮」(50.0%)、「地域活動・地域コミュニティへの配慮」(48.9%)が高い。以下、「市の財政負担の軽減」(31.5%)、「周辺の街並みや景観への配慮」(26.7%)などと続く。
- ・「その他」(5.6%)の回答としては、「子どもへの配慮、理解」、「生活の利便性」、「浸水の危険性がある場所の整備」などが挙げられている。

◆性別、年齢別

- ・性別でみると、「防災機能の確保」、「地域活動・地域コミュニティへの配慮」は女性の方が男性より5.8ポイント以上高い。
- ・年齢別でみると、「防災機能の確保」は40歳代～60歳代が6割を超えて高い。40歳代は「近隣住民の住環境への配慮」、「地域活動・地域コミュニティへの配慮」が他の年代より高い。

(%)

		n	防災機能の確保	近隣住民の住環境への配慮	地域活動・地域コミュニティへの配慮	市の財政負担の軽減	周辺の街並みや景観への配慮	その他	わからない	無回答
全体		270	62.2	50.0	48.9	31.5	26.7	5.6	3.7	3.7
性別	男性	99	58.6	50.5	44.4	33.3	29.3	5.1	4.0	-
	女性	163	64.4	49.7	52.1	30.1	25.2	6.1	3.1	4.9
	選択せず	8	62.5	50.0	37.5	37.5	25.0	-	12.5	25.0
年齢	30歳代以下	44	47.7	43.2	50.0	20.5	22.7	9.1	6.8	4.5
	40歳代	44	63.6	61.4	59.1	34.1	27.3	4.5	-	-
	50歳代	71	77.5	49.3	50.7	32.4	29.6	5.6	1.4	2.8
	60歳代	48	66.7	43.8	37.5	35.4	25.0	4.2	4.2	4.2
	70歳以上	62	50.0	51.6	46.8	32.3	25.8	4.8	6.5	6.5

◆世帯構成別、同居の子ども有無別

- ・世帯構成別でみると、「防災機能の確保」は単身世帯と二世代の世帯が6割台半ばと高い。「近隣住民の住環境への配慮」は単身世帯と夫婦のみ世帯が5割台、「地域活動・地域コミュニティへの配慮」は夫婦のみ世帯と二世代の世帯が5割台となっている。
- ・同居の子ども有無別でみると、「地域活動・地域コミュニティへの配慮」はいる家庭（55.0%）がいない家庭（47.1%）より7.9ポイント高く、「周辺の街並みや景観への配慮」はいる家庭（29.3%）がいない家庭（18.3%）より11.0ポイント高い。

(%)

		n	防災機能の確保	近隣住民の住環境への配慮	地域活動・地域コミュニティへの配慮	市の財政負担の軽減	周辺の街並みや景観への配慮	その他	わからない	無回答
全体		270	62.2	50.0	48.9	31.5	26.7	5.6	3.7	3.7
世帯構成	単身世帯	35	65.7	51.4	40.0	40.0	34.3	8.6	5.7	8.6
	夫婦のみ世帯	76	55.3	53.9	50.0	36.8	34.2	3.9	3.9	1.3
	二世代の世帯	145	65.5	45.5	51.0	27.6	21.4	6.2	3.4	3.4
	三世代の世帯	8	50.0	75.0	62.5	25.0	12.5	-	-	-
	その他	5	60.0	80.0	-	20.0	40.0	-	-	20.0
同居の子ども	いる	60	61.7	48.3	55.0	28.3	18.3	8.3	3.3	1.7
	いない	208	62.5	50.5	47.1	32.7	29.3	4.8	3.8	3.8

◆学校との距離別

- ・「防災機能の確保」は半径250m以内～半径1 km以内が6割を超えて高い。
- ・「近隣住民の住環境への配慮」は距離が近いほど割合が高く、半径250m以内は5割台後半となっている。
- ・「市の財政負担の軽減」は半径500m以内が4割台、「周辺の街並みや景観への配慮」は半径250m以内が3割台と高い。

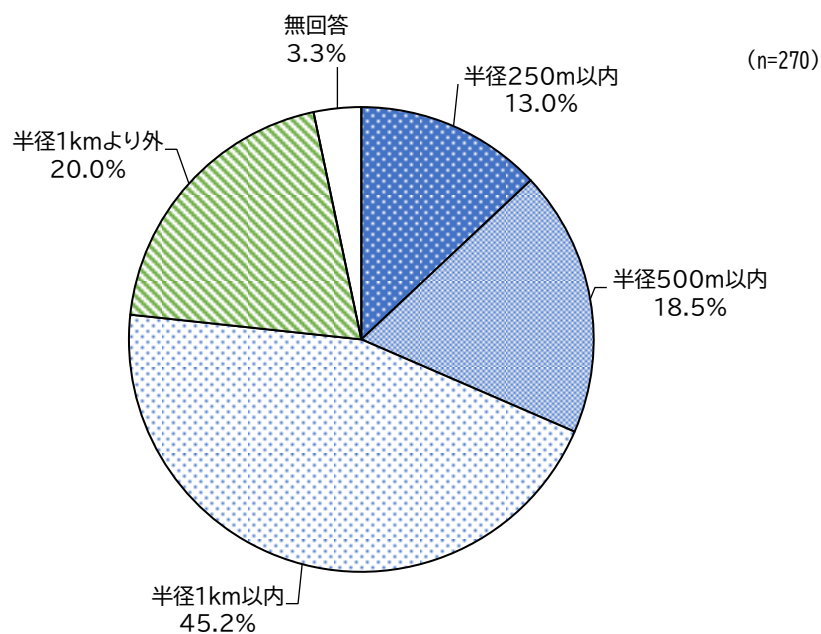
(%)

	n	防災機能の確保	近隣住民の住環境への配慮	地域活動・地域コミュニティへの配慮	市の財政負担の軽減	周辺の街並みや景観への配慮	その他	わからない	無回答
全体	270	62.2	50.0	48.9	31.5	26.7	5.6	3.7	3.7
学校との距離									
半径250m以内	35	60.0	57.1	54.3	28.6	34.3	5.7	2.9	-
半径500m以内	50	70.0	54.0	52.0	42.0	22.0	6.0	4.0	2.0
半径1km以内	122	66.4	51.6	47.5	27.0	29.5	5.7	4.1	1.6
半径1kmより外	54	51.9	44.4	50.0	35.2	20.4	5.6	1.9	5.6

4. 避難施設について

(1) 自宅から町田第三小学校までの距離

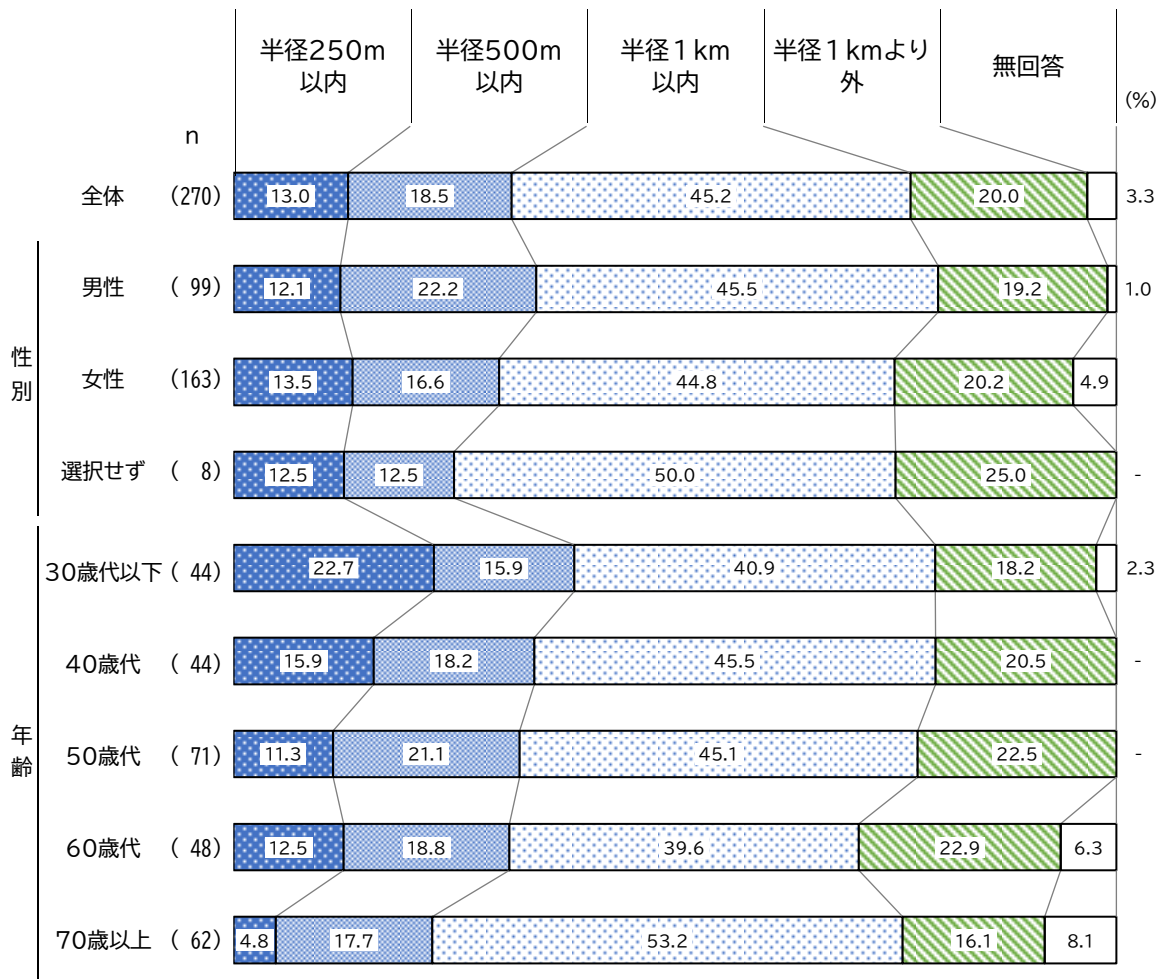
問13 あなたのご自宅から町田第三小学校までの距離について、教えてください。（1つだけ）



- ・「半径1 km以内」が45.2%で最も高く、以下、「半径1 kmより外」（20.0%）、「半径500m以内」（18.5%）、「半径250m以内」（13.0%）と続く。

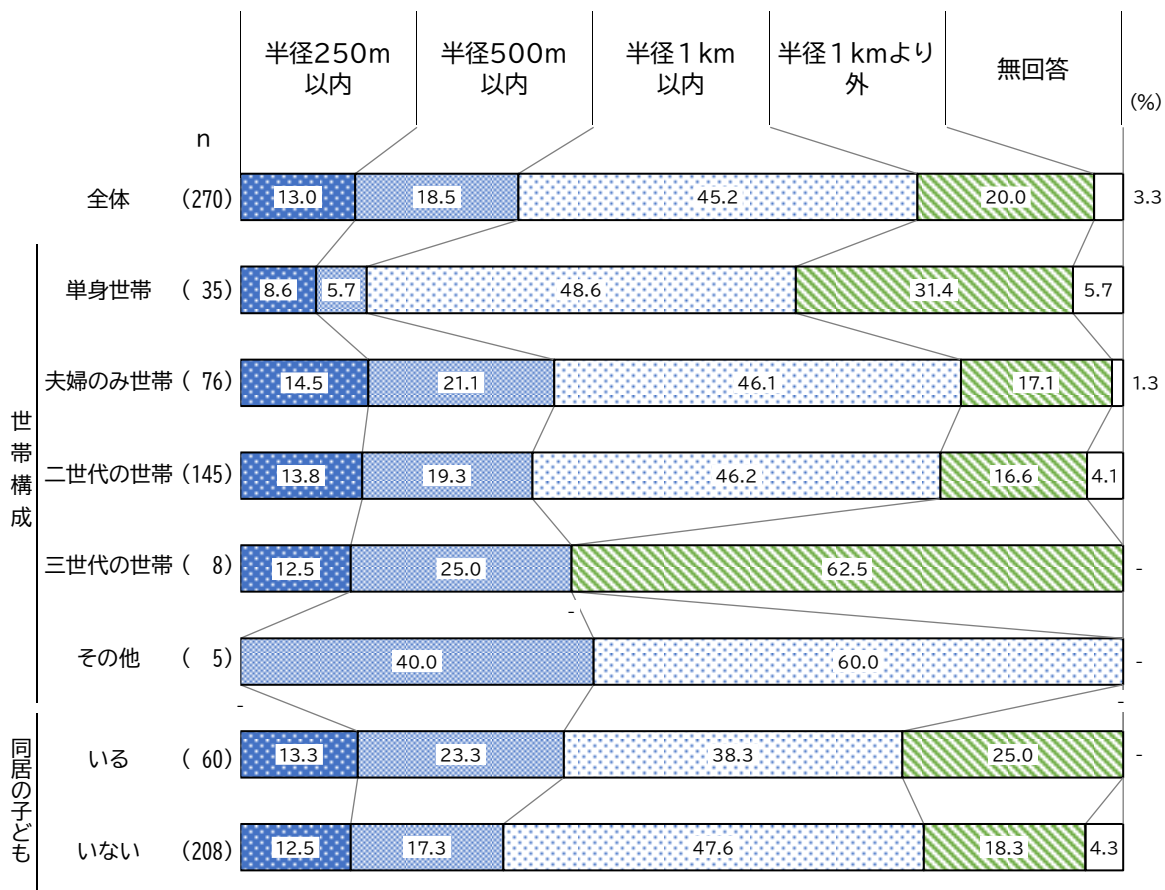
◆性別、年齢別

- ・性別でみると、「半径500m以内」は男性（22.2%）の方が女性（16.6%）より5.6ポイント高い。
- ・年齢別でみると、「半径250m以内」は30歳代以下（22.7%）が最も高く、次いで40歳代（15.9%）が高い。70歳以上は「半径1 km以内」が53.2%を占める。



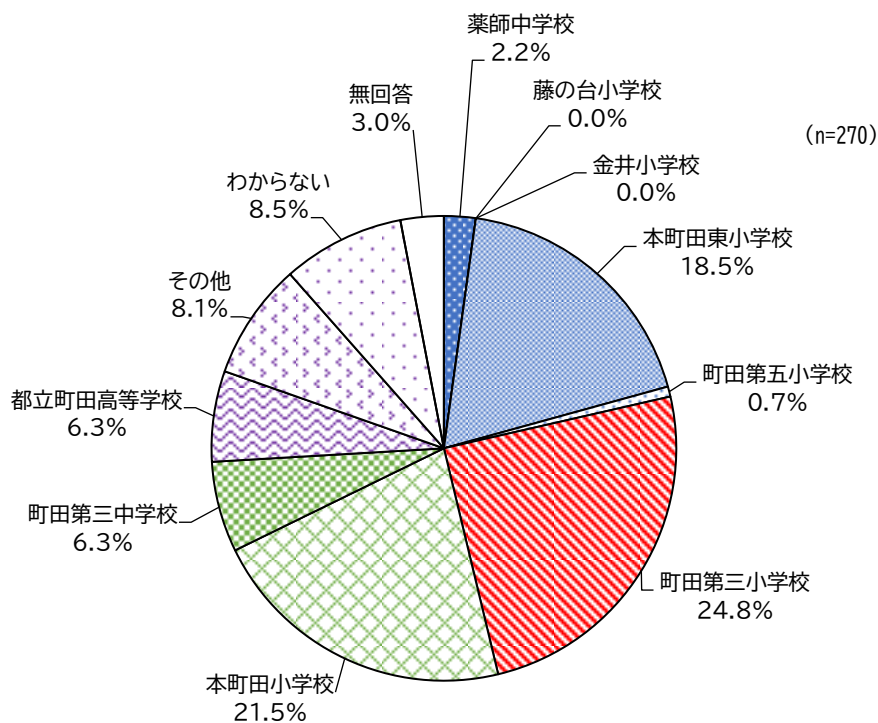
◆世帯構成別、同居の子ども有無別

- ・世帯構成別でみると、単身世帯は「半径1 kmより外」（31.4%）が高く、「半径250m以内」と「半径500m以内」が1割未満と低い。
- ・同居の子ども有無別でみると、いる家庭は「半径500m以内」と「半径1 kmより外」が2割台でない家庭より6.0ポイント以上高い。いない家庭は「半径1 km以内」がいる家庭より9.3ポイント高い。



(2) 大規模地震発生時の避難場所

問14 今、大規模な地震災害が発生し、自宅が被害を受けるなど、一定期間避難生活を送る必要が生じた場合、どこに避難しますか。(1つだけ)

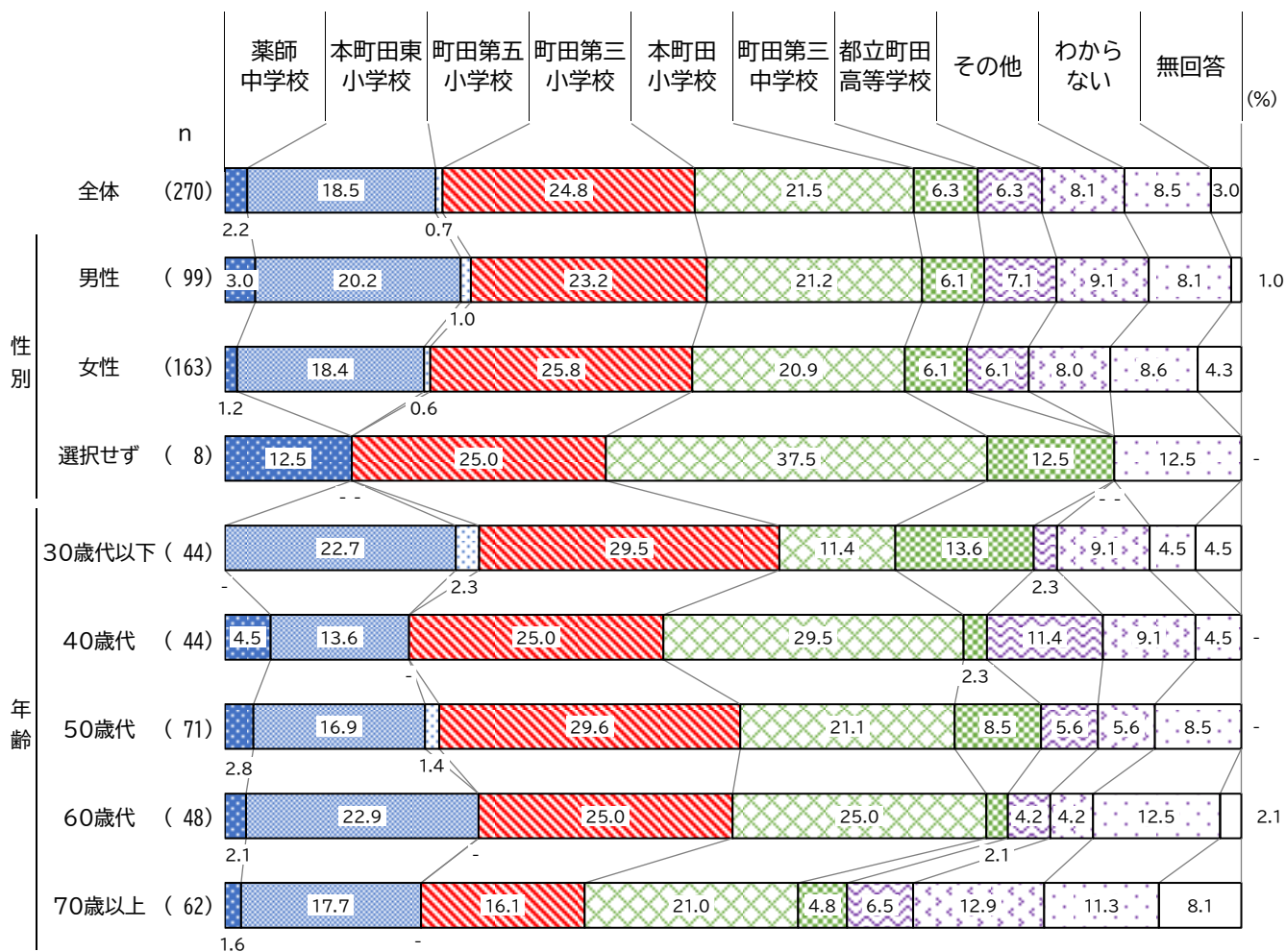


- ・「町田第三小学校」(24.8%)が最も高く、次いで「本町田小学校」(21.5%)が高い。以下、「本町田東小学校」(18.5%)、「町田第三中学校」「都立町田高等学校」(共に6.3%)などと続く。
- ・「その他」(8.1%)の回答としては、「サン町田旭体育館／町田中央公園」、「七国山小学校」、「木曽中学校」、「子ども創造キャンパスひなた村」、「四季彩の杜」、「町田第一中学校」、「町田第六小学校」、「自宅／車中」が挙げられている。

※「サン町田旭体育館」は風水害時に限って開設する避難施設となります。また、「子ども創造キャンパスひなた村」は2025年4月に避難施設として指定予定です。「町田中央公園」、「四季彩の杜」の一部である薬師池公園は一時的な避難を想定している避難広場として指定しています。

◆性別、年齢別

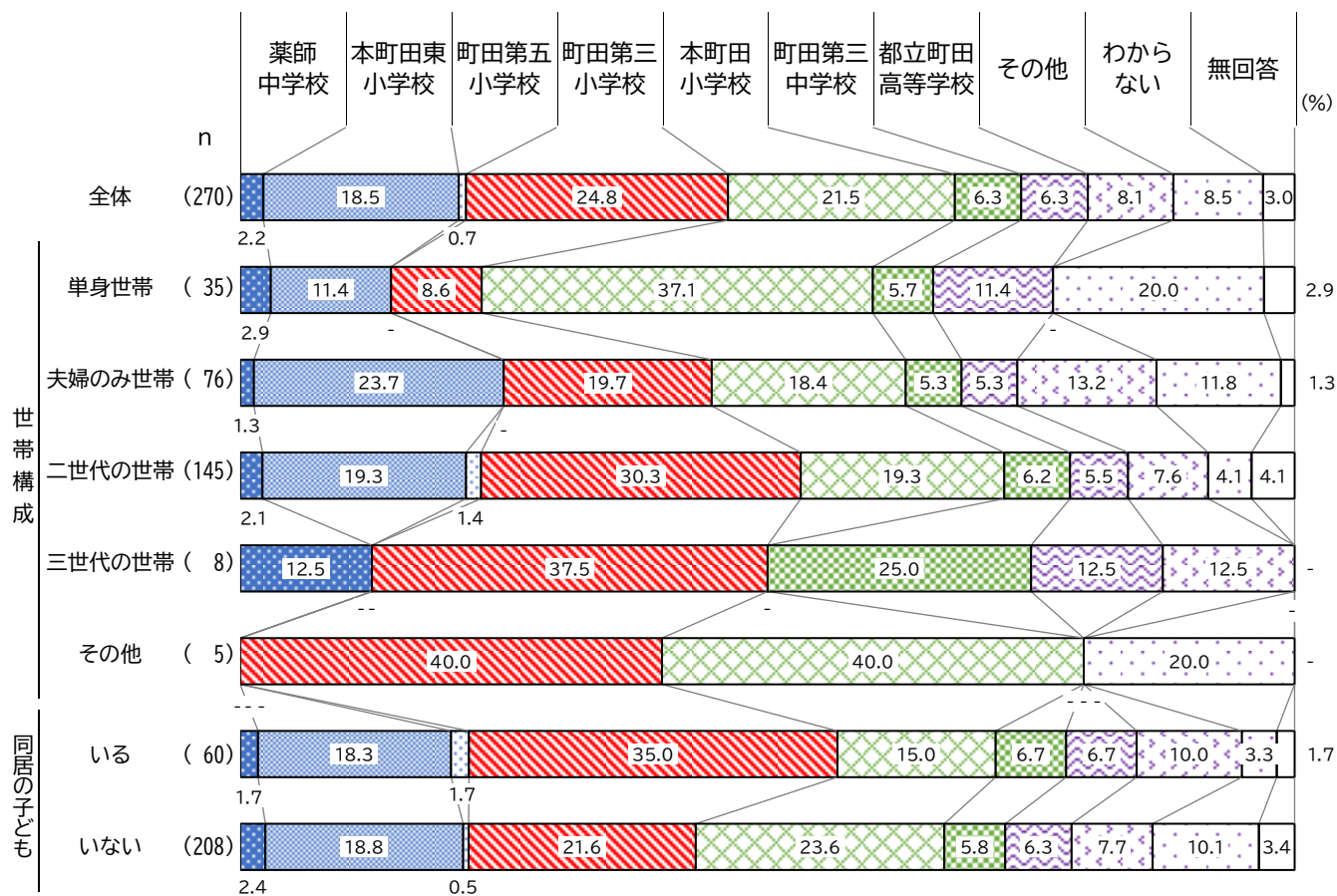
- ・性別でみると、男女による差はみられない。
- ・年齢別でみると、「町田第三小学校」は60歳代以下が2割台後半、70歳以上は1割台半ばとなっている。「本町田小学校」は30歳代以下が1割強と低く、40歳代が約3割と高い。



注) 「藤の台小学校」と「金井小学校」は0件のため省略した。

◆世帯構成別、同居の子ども有無別

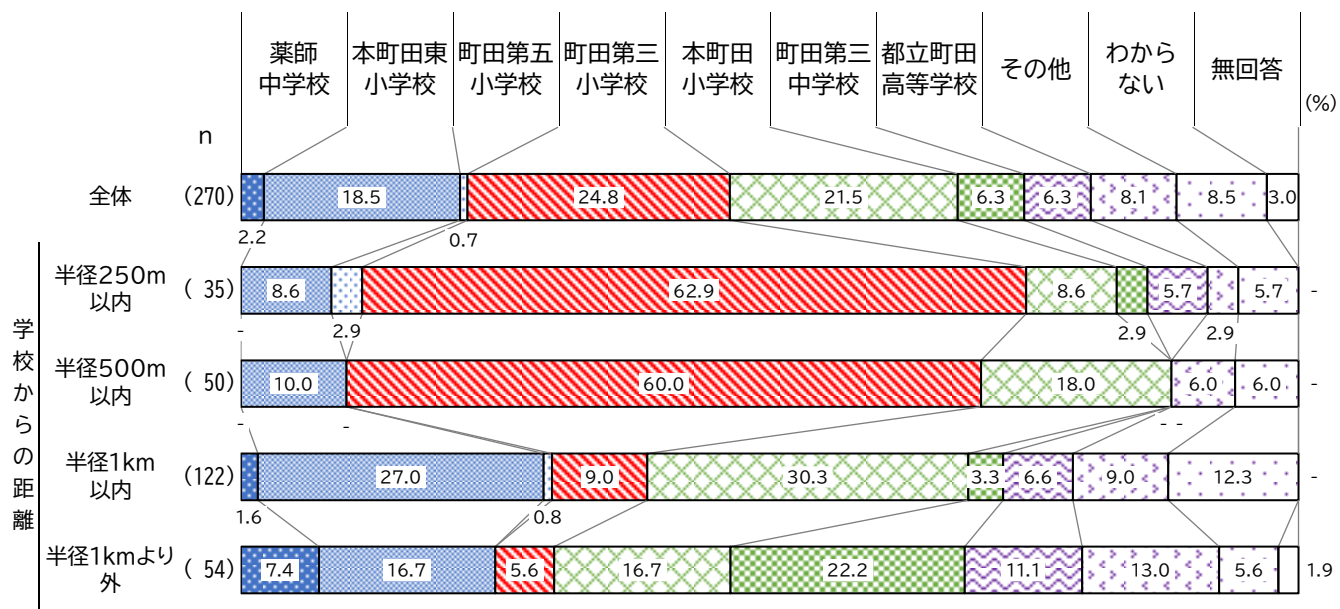
- ・世帯構成別でみると、単身世帯は「本町田小学校」（37.1%）が最も高く、次いで「わからない」（20.0%）が高い。夫婦のみ世帯は「本町田東小学校」（23.7%）が最も高く、二世帯の世帯は「町田第三小学校」（30.3%）が最も高い。
- ・同居の子ども有無別でみると、いる家庭は「町田第三小学校」（35.0%）が最も高く、いない家庭（21.6%）より13.4ポイント高い。



注) 「藤の台小学校」と「金井小学校」は0件のため省略した。

◆学校からの距離別

- ・半径250m以内と半径500m以内は「町田第三小学校」が6割台となっている。
- ・半径1km以内は「本町田小学校」(30.3%)が最も高く、次いで「本町田東小学校」(27.0%)が高い。
- ・半径1kmより外は「町田第三中学校」(22.2%)が最も高く、次いで「本町田東小学校」「本町田小学校」(共に16.7%)が高い。



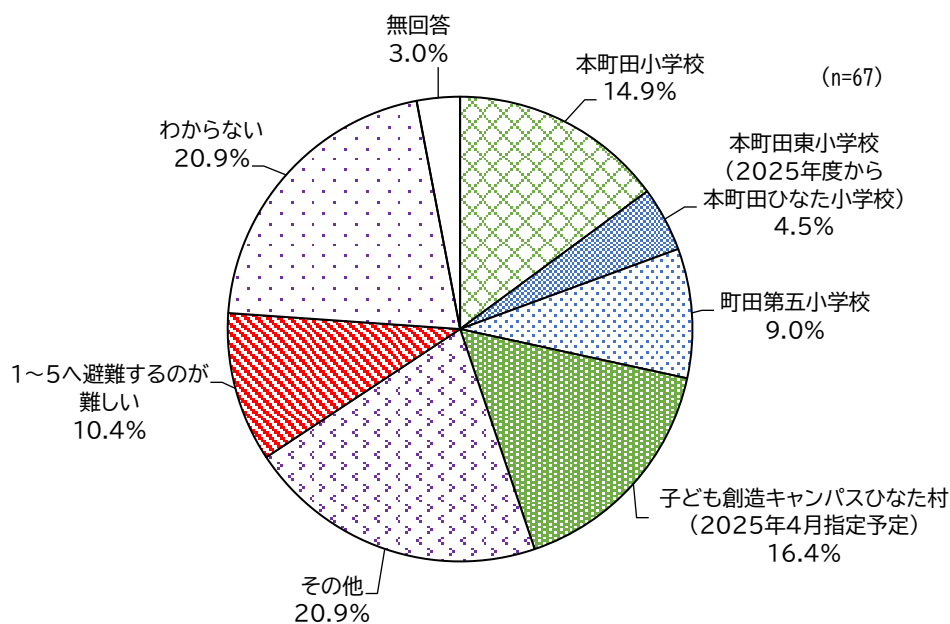
注) 「藤の台小学校」と「金井小学校」は0件のため省略した。

(3) 町田第三小学校閉校後の避難場所

問15 前問14で「6 町田第三小学校」と回答された方にお聞きします。

2028年3月に町田第三小学校が閉校し避難施設でなくなる場合、どこに避難しますか。

(1つだけ)



- ・「わからない」と「その他」がそれぞれ20.9%となっている。
 - ・避難施設の中では「子ども創造キャンパスひなた村（2025年4月指定予定）」（16.4%）が最も高く、次いで「本町田小学校」（14.9%）が高い。
 - ・「1～5へ避難するのが難しい」は10.4%となっている。
 - ・「その他」（20.9%）の回答としては、「サン町田旭体育館／町田中央公園」、「都立町田高校」、「町田市民病院」、「町田第一小学校」、「町田第一中学校」が挙げられている。
- ※「サン町田旭体育館」は風水害時に限って開設する避難施設となります。「町田中央公園」は一時的な避難を想定している避難広場として指定しています。「町田市民病院」は災害拠点病院であり、避難施設ではありません。

(4) 町田第三小学校以外の場所への避難が難しい理由

問16 前問15で「6 1～5へ避難するのが難しい」と回答された方にお聞きします。
避難するのが難しい理由について教えてください。（自由記述）

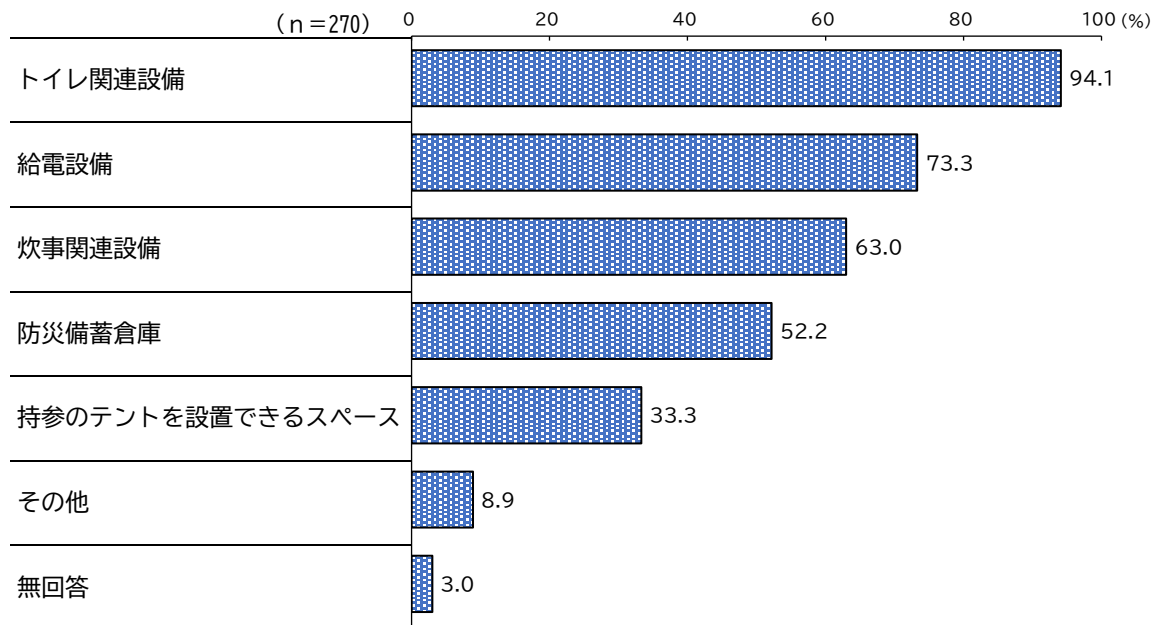
避難が難しい理由	回答数 (n=7)
遠い ・徒歩で遠く、子どもと荷物を持って避難がしんどすぎる。（30歳代） ・おじいちゃんやおばあちゃんがいるので遠い所は無理。（50歳代）	6
坂道 ・坂道だから膝が痛いので行きにくい。（60歳代）	2
その他 ・ひなた村の場合は団地があるのでいっぱいになってしまうと思う。 （60歳代）	1

注) n数は問16の回答者数。

注) 回答に複数の項目が挙げられていた場合は、それぞれの項目にカウントしている。

(5) 避難用テント活用時に必要なもの

問17 市では、「アウトドア×防災」の取り組みとして、避難広場等で災害時に活用できる屋外型の避難用テントの配備をしています。このような避難用テントを活用する際に必要と思うものは何ですか。（いくつでも）



- ・「トイレ関連設備」が94.1%と最も高い。以下、「給電設備」（73.3%）、「炊事関連設備」（63.0%）、「防災備蓄倉庫」（52.2%）、「持参のテントを設置できるスペース」（33.3%）などと続く。
- ・「その他」（8.9%）の回答としては、「お風呂／シャワー／入浴支援」、「ペット同伴テント／ペットと過ごせる」、「水／浄水機能設備」、「冷暖房設備／暑さを防ぐ高価なテント」などが挙げられている。

◆性別、年齢別

- ・性別でみると、「トイレ関連設備」は男女とも9割を超える。それ以外の項目は女性の方が男性より3.8ポイント以上高い。
- ・年齢別でみると、「トイレ関連設備」は全ての年代で最も高い。「給電設備」は40歳代～60歳代が7割を超え、「防災備蓄倉庫」は40歳代～50歳代が5割を超える。「持参のテントを設置できるスペース」は60歳代以下で3割台となっている。

(%)

		n	トイレ関連設備	給電設備	炊事関連設備	防災備蓄倉庫	持参のテントを設置できるスペース	その他	無回答
全体		270	94.1	73.3	63.0	52.2	33.3	8.9	3.0
性別	男性	99	96.0	67.7	60.6	48.5	30.3	10.1	1.0
	女性	163	92.6	76.1	64.4	54.6	35.6	8.6	4.3
	選択せず	8	100.0	87.5	62.5	50.0	25.0	-	-
年齢	30歳代以下	44	93.2	61.4	63.6	45.5	36.4	-	2.3
	40歳代	44	95.5	77.3	59.1	54.5	34.1	9.1	-
	50歳代	71	98.6	81.7	63.4	59.2	38.0	16.9	-
	60歳代	48	89.6	77.1	62.5	50.0	31.3	6.3	6.3
	70歳以上	62	91.9	66.1	64.5	48.4	25.8	8.1	6.5

◆世帯構成別、同居の子ども有無別

- ・世帯構成別でみると、「給電設備」は単身世帯と二世帯の世帯が7割台半ばと高い。「防災備蓄倉庫」は単身世帯が6割と高い。
- ・同居の子ども有無別でみると、「持参のテントを設置できるスペース」はいる家庭が46.7%、いない家庭（29.8%）より16.9ポイント高い。

(%)

		n	トイレ 関連 設備	給電設備	炊事関連設 備	防災備 蓄倉 庫	持参のテントを設置 できるスペース	その他	無回答
全体		270	94.1	73.3	63.0	52.2	33.3	8.9	3.0
世帯 構 成	単身世帯	35	88.6	74.3	65.7	60.0	25.7	8.6	5.7
	夫婦のみ世帯	76	94.7	68.4	61.8	53.9	30.3	5.3	3.9
	二世代の世帯	145	94.5	75.9	60.7	49.0	35.9	10.3	2.1
	三世代の世帯	8	100.0	62.5	87.5	50.0	37.5	12.5	-
	その他	5	100.0	80.0	80.0	80.0	40.0	20.0	-
子 ど も	同居 の	60	95.0	75.0	65.0	55.0	46.7	8.3	-
	いない	208	93.8	73.1	62.5	51.4	29.8	9.1	3.8

5. その他

(1) 町田第三小学校跡地活用等への意見

問18 そのほか、町田第三小学校跡地の活用等について、これまでお答えいただいたこと以外に何かご意見があれば、ご記入ください。（自由記述）

町田第三小学校跡地の活用等への意見		回答数 (n=66)
跡地にあるとよい機能・施設等	市民や地域住民のための場所	15
	子どもたちのための場所	11
	避難施設や防災のための場所	11
	その他跡地にあるとよい機能・施設	25
検討の進め方について		12
市の財政負担の軽減について		3
その他		11

注) n数は問18の回答者数（「特になし」などは除く）。

注) 回答に複数の項目が挙げられていた場合は、それぞれの項目にカウントしている。

以下に主な回答を掲載する。

なお、回答の趣旨を損なわない範囲で表現を一部変えているものもある。

市民や地域住民のための場所

- ・高台で狭い土地なので用途は限られると思うが、若葉・桜・紅葉・梅を詠みこんだ校歌のとおり本町田の豊かな四季を体感できる場所である。地域の住民や子どもたちが穏やかに過ごせる憩いの場になれば良いかと願っている。（20歳代）
- ・住民が必要だと感じる、納得のできる施設に活用してください。（30歳代）
- ・子どもの母校なのでずっと身近に感じられる場所であってほしいと思う。地域の人に開放してほしい。（40歳代）
- ・跡地がきれいになり地元の活性化に繋がる公共の場になることを望む。（50歳代）
- ・学校がなくなることが多くなり、辛い思いしかない。とにかく市民にとってより良い場所にして頂ければと思う。（50歳代）
- ・老若男女問わず活用できる物にしていきたいと思う。（50歳代）
- ・皆様方の大切な意見を正しく認識し、まとめ、実行していくことは大変だろうが、後世に残り、この事業をこの形としたことを皆が誇りに思い、感謝し、大切に利用できるようなものを作りあげて頂きたい。（60歳代）

子どもたちのための場所

- ・子どもが有意義に過ごせる場所がほしい。（30歳代）
- ・子どもが放課後に集まれる場所作り。（50歳代）
- ・小学校への登校が不便になると若い人の移住がなくなる。（50歳代）
- ・児童の為の遊び場（屋内外）、学習の場として利用。自然体験、農業体験が出来る畑、昔の生活を再現、体験できる施設。（70歳以上）

避難施設や防災のための場所

- ・（アウトドア×防災）の取り組みの推進はよいと思う。市で補助金があれば災害や防災対策としてテントを購入したいと思う。（40歳代）
- ・普段から地域での防災訓練のためのアウトドアイベントがあると、近隣の人たちと交流がもてたり、周囲の人がどんなことが得意で、いざという時にどういう役割分担で自助活動ができるのか把握しておけると安心につながると思う。（40歳代）
- ・今後大規模な地震が予想されるため、商業施設ではなく災害用のために設備を整えていく方がよいと思う。（50歳代）
- ・周辺の道が狭い。抜け道に利用されている。河川がある。土地の高低差がある。第一種住居地域等の制約が多いことから、跡地利用はなかなか難しいのではないかと。とは言え更地で遊ばせておく訳にも行かないので、普段はひなた村の機能を拡張して市内の小学生がキャンプできるとかイベントなどに利用し、不測の事態では周辺住民の避難場所として活用するのが良いのではないかと。周辺住民の理解を得られるか微妙なところではあるが。（50歳代）
- ・避難施設をこれ以上減らさないでほしい。むしろ増やしてほしい。高齢者や寝たきり、障がい者が避難するときは遠くなると避難場所へ着くまでにケガ等してしまうこともあると思う。（50歳代）

その他跡地にあるとよい機能・施設

- ・竹林や桜の木を残してほしい。（20歳代）
- ・学校の跡地でこれほど道路に面していなくて高低差のある土地はあまりないと思うので、次の利用を考えるのはとても難しい土地だと思う。少子高齢化や近年災害も多いことを考えると、今までと全く違う新しい発想が必要のように思う。専門の方や若い世代の意見も取り入れて安全な活用を願う。町三小は桜の木のととてもきれいな丘の上ののどかな小学校。できるなら桜の木はそのまま、静かな雰囲気もそのままに活かせる方法があれば嬉しい。（40歳代）
- ・市が運営する、ジム・プール・体育館など子どもも大人も活用できる施設だと嬉しい。（40歳代）
- ・町田市は、高齢者や障がい者、子ども向けのコミュニティセンター等は、増えているが、働いている人が利用したくなるもの、利用できる時間帯に使える施設は少ないと思う。近くにできるものは、そういったものが多く、利用する機会がない。夜の時間帯などにも使えるジムや、仕事や勉強ができる場所があると嬉しい。（50歳代）
- ・子どもの母校がなくなるのは子ども共々寂しい限り。しかし、訪ねた時に町田を感じられる場所がいい。町田の特産物品などの販売など「道の駅」的なものはよいかと。スケボーが楽しめる場。キャッチボールが楽しめる場。（60歳代）
- ・体育館跡を駐車場とし、救急ヘリが着陸可能な診療所はどうか。（60歳代）
- ・子ども人口の減少で学校もなくなるのだけれど、少ない人口の中、それぞれの年代が青空のもと体を動かせる場があればと思う。建物を作るのではなく、地面で体を動かせる広場を作ったと思う。個人が何気なく入って動ける運動できる場が第三小学校跡にできたらいいと思う。（70歳以上）
- ・歴史ある三小がなくなるということ大変残念に思う。跡地がどんな形で建設されても三小跡地であることの碑等の建立をお願いしたい。（70歳以上）

検討の進め方について

- ・三小周辺の住民のヒアリングをしっかりと行いながら実施してほしい。（20歳代）
- ・住民の意見を尊重することに拘ると結果的にボリューム層である高齢者の意見が反映され、高齢者向けの施設となる。これからは若い世代を呼び込み、育てていかないと街全体が活力を失う。行政が強い意志を持ってリーダーシップを発揮してほしい。（50歳代）
- ・現状についての希望や意見も大事だが、10年20年と将来を見て計画してもらいたい。この地域は住民サービスも含めて問題ないと思う。（70歳以上）

市の財政負担の軽減について

- ・現状の土地をすべて、市で運営するのはコストがかかると思う。目的が明確になった後に、不要な土地は売却し、その売上を次の目的に充当するのがよいと思う。（50歳代）
- ・私は高齢者なので後に生きる若い人たちの負の遺産にならないことを願っている。避難所だけが目的にならない方法や本町田中学や西小跡地のように貸し付けという形にして負担が軽くなる方法があればよいと思う。（70歳以上）

その他

- ・少子化によって小学校の統廃合で町田第三小学校がなくなるのは仕方ないが、町田市は行政の立場で出生数向上のための少子化対策をもっとやるべきだと思う。（50歳代）
- ・どのように活用するにしても一部の道路拡張を検討する必要があるのでは。（50歳代）
- ・歴史あり。父親、子と同じ学校で、そして孫もと考えていたのにとっても残念でならない。（50歳代）
- ・具体的にはわからないが、危険のないよう整地した上で、はっきりした目的のために使用されることを希望する。めったに使わないのに、立派な建物だけとか目的のはっきりしない広場とか。あいまいな使い方は避けていただきたい。（70歳以上）

資料編

町田第三小学校

跡地活用等に関する

市民アンケート



市民の皆さまには、平素から市政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

町田市では、本町田地区の市立小学校の統合によって、**2028年3月に閉校となる町田第三小学校の活用に向けた検討を行っています。**

学校は教育活動の場としてだけでなく、避難施設や地域の活動の場など、地域住民にとって身近な場所として、様々な用途に活用されていることから、町田第三小学校跡地の活用にあたっては、本町田にお住まいの皆さまのご意見を参考にさせていただきたく、本アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

2024年8月 町田市長 石坂 丈一

回答は「郵送」または「インターネット（パソコン、スマートフォン、タブレット）」のいずれかの方法で行うことができます。詳細は2ページ目をご覧ください。

回答期限 : 2024年8月21日（水）まで（回答・投函）

問い合わせ先 町田市 政策経営部 企画政策課 電話：042-722-3111(代表)

※ 本調査は本町田周辺にお住まいの15歳以上の方を対象に、無作為に1,000人の方を抽出し送付しております。

※ 本調査は**無記名**です。お名前を記載する必要はありません。お答えいただいた内容は統計的に処理するため、**回答者が特定されることはありません。**

郵送での回答方法

この調査票に回答をご記入いただき、同封いたしましたアンケート回収用封筒に入れて期限までにお近くのポストへ投函してください（切手を貼る必要はありません）。

インターネットでの回答方法

パソコン、スマートフォン、タブレットで、下の二次元コードを読み取るか、下記URLを入力して回答フォームへアクセスし、ログインID（URLの下に記載）を入力の上、期限までに回答を入力・送信してください。

U R L : <https://www.ooooo>
ログインID : 12345



インターネット回答の画面（スマートフォンの場合）

回答の進行状況が表示されます。

町田第三小学校跡地活用等に関する市民アンケート調査

進行状況 4%

1 あなた自身について
あなたご自身のことについて、お聞きします。

問1 あなたの性別をご回答ください。（1つだけ）

1. 男性
2. 女性
3. 選択せず

「次へ >>>」

町田第三小学校跡地活用等に関する市民アンケート調査

進行状況 100%

問18 町田第三小学校跡地の活用について、ご意見があれば、お願いします。（自由記述）

1 ページ前に戻るボタン

< 戻る

送信

ページの移動は②、④のボタンを使用し、ブラウザの「<」、「>」は、正常に動かなくなるため使用しないでください。

< > 印刷 ブックマーク 共有

① 上記 URL の下に記載されている「ログインID」を入力してください。

② ログインIDを入力後に「次へ」ボタンを押してください。

③ 選択肢を押すと印が付きます。

④ 「次へ」ボタンを押してください（回答が保存されます）。

⑤ 回答が終了したら「送信」を押してください。
※送信後は修正・再回答できません。

<回答に際してのお願い>

- ▶ アンケートをお送りした**お名前のご本人**がお答えください。
※ ご本人が長期不在等で回答できない場合は、ご回答は不要です。お手数ですが、この調査票は破棄してください。
- ▶ 回答は質問ごとに、当てはまる選択肢を選んでいただく形式です（一部、自由記述があります）。
- ▶ 選択肢について、選んでいただく数は「1つだけ」、「いくつでも」と指定されています。
指定数よりも多く選択された場合、集計上無効となってしまいますので、ご注意ください。
- ▶ 選択肢「その他」を選んだ場合は、（ ）内に具体的な内容をご回答ください。
- ▶ 回答に迷う場合は、あなたの考えにできるだけ近いものをご回答ください。
- ▶ 回答方法は、郵送回答では選択肢の番号に○をつけ、インターネット回答では選択肢をクリックして（押し）てください。
- ▶ 回答を修正する場合は、郵送回答では回答内容を二重線で消して再度、回答し、インターネット回答では再度、選択肢を選び直してください。
- ▶ インターネット回答では、「次へ」ボタンを押すことで回答が一時保存されます。
- ▶ 調査についてのお問い合わせは、表紙の問い合わせ先までお願いいたします。

1. あなた自身について



問 1 あなたの性別をご回答ください。(1つだけ)

1 男性

2 女性

3 選択せず

問 2 あなたの年齢をご回答ください。(1つだけ)

1 15～19 歳

2 20～24 歳

3 25～29 歳

4 30～34 歳

5 35～39 歳

6 40～44 歳

7 45～49 歳

8 50～54 歳

9 55～59 歳

10 60～64 歳

11 65～69 歳

12 70～74 歳

13 75 歳以上

問 3 あなたの職業をご回答ください。(1つだけ)

1 会社員・公務員

2 自営業

3 経営者・役員

4 自由業

5 家事専業

6 パート・アルバイト

7 学生

8 無職

9 その他 (

)

問 4 あなたは町田市本町田に住んで、通算で何年になりますか。(1つだけ)

※ 一度転出し、再度転入している場合は、合計の期間をお答えください。

1 1 年未満

2 1 年以上～3 年未満

3 3 年以上～5 年未満

4 5 年以上～10 年未満

5 10 年以上～20 年未満

6 20 年以上

問 5 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあたりますか。(1つだけ)

1 単身世帯 (一人世帯)

2 夫婦のみ世帯 (事実婚を含む)

3 二世代の世帯 (親と子)

4 三世代の世帯 (親と子と孫)

5 その他 (

)

問 6 あなたには、同居している 0 歳から 18 歳のお子さんがいますか。(いくつでも)

1 0 歳～2 歳

2 3 歳～小学校入学前

3 小学生

4 中学生

5 中学校卒業～18 歳

6 いない

問 7 町田第三小学校とあなたの関わりについて、選択肢から該当するものをご回答ください。

(いくつでも)

1 現在、自分の子どもが通学している

2 子どもの母校である

3 自分の母校である

4 スポーツ活動や同好会、サークル活動の場として使うことがある

5 地域の防災、防犯、交通安全に関する活動の場として使うことがある

6 子育て、教育に関する活動 (子どもの習い事、PTA 活動など) の場として使うことがある

7 町内会・自治会の活動の場として使うことがある

8 地域福祉に関する活動 (民生委員活動など) の場として使うことがある

9 各種ボランティア活動の場として使うことがある

10 その他 (

)

11 特に関わりはない

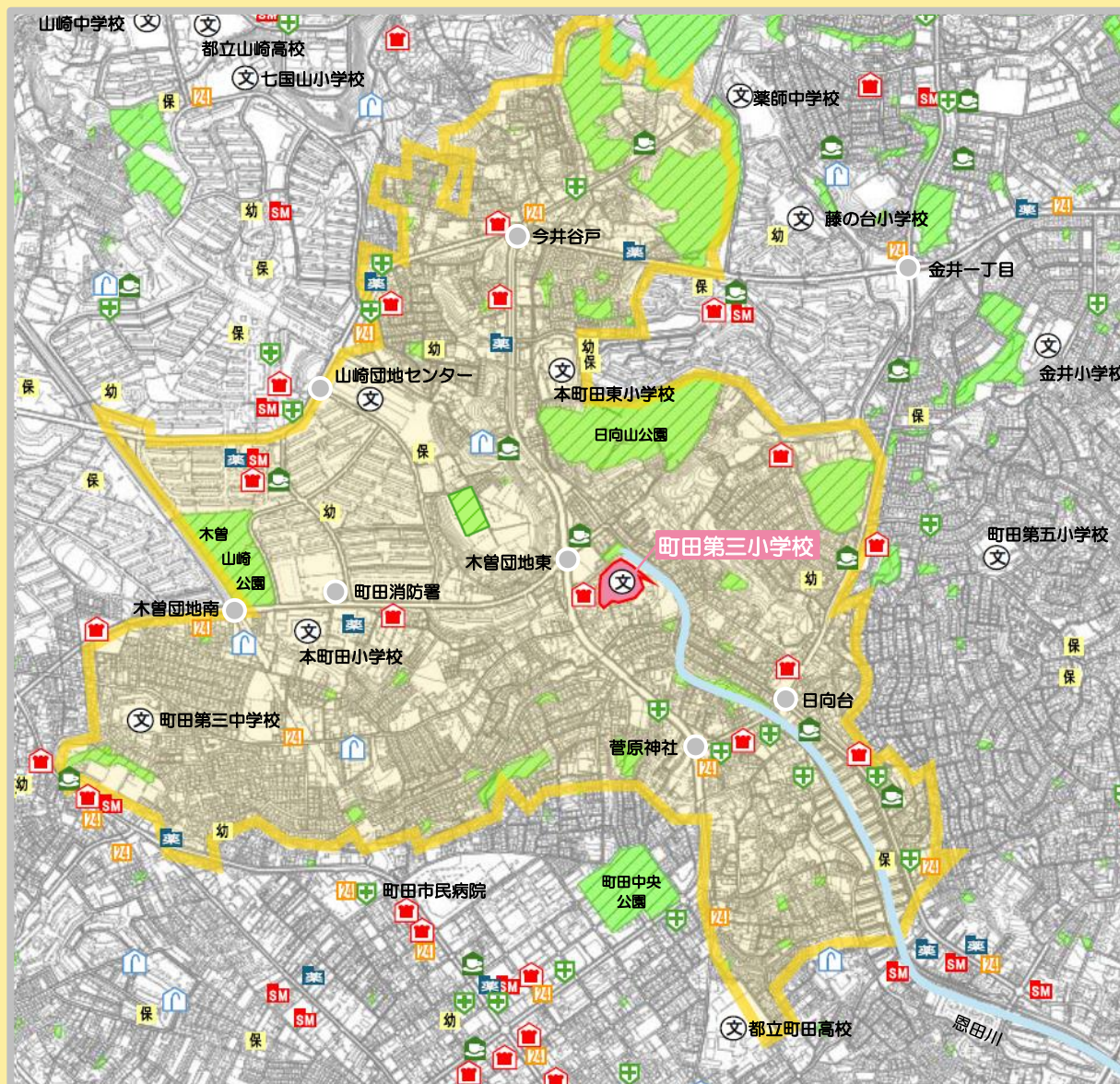
2. 地域課題の認識について



あなたが感じている地域課題についてお聞きます。以下の説明をご覧ください、ご回答ください。

本町田周辺マップ

本町田周辺の生活利便施設（スーパーマーケット、ドラッグストア等）や医療・福祉施設、子育て・教育施設、公園等をプロットしたマップです。



SM …スーパーマーケット

薬 …ドラッグストア

24 …コンビニエンスストア

レストラン等

…カフェ等

文 …学校

幼 …幼稚園

保 …保育園

…病院、診療所、歯科医院等

…高齢者福祉施設等

…本町田エリア

…公園



色々な施設や機能・サービスがあるね！

本町田に足りない施設やサービスはあるかな？



問 8 お住まいの地域（町田市本町田）で、「不便さ」や「住みづらさ」を感じていること、課題として感じていることはありますか。（いくつでも）

- 1 住民の減少や、高齢化が進むことで、地域活動の担い手が不足している
- 2 防災の備えが充実していない
- 3 子育て・教育施設の利便性が高い
- 4 医療・福祉施設の利便性が高い
- 5 憩いくつろげる空間や施設が充実していない
- 6 生活利便施設（例、スーパーマーケット、ドラッグストア等）が充実していない
- 7 その他（ ）
- 8 特になし
- 9 わからない

問 9 お住まいの地域（町田市本町田）には、どのような施設や機能・サービスが不足していると思いますか。不足しているものがないと思われる場合、未記入で構いません。（自由記述）

[illegible]

3. 町田第三小学校跡地活用について



町田第三小学校の跡地活用についてお聞きします。以下の説明をご覧ください、ご回答ください。

町田第三小学校の基礎情報

町田第三小学校の敷地内には、大きな高低差があります。この高低差は、がけとなっており、敷地を有効活用するためには、土砂災害への警戒や建物の建築に配慮が必要となります。また、北側には、敷地に沿って恩田川が流れており、大雨・洪水時には浸水することが想定されています。

▶敷地面積：13,982 m²

▶用途地域：第一種住居専用地域※

※この用途地域は、低層の建物が建てられ、閑静で良好な住環境が守られている地域で、不特定多数の人が来訪するような商業目的での土地利用に規制のあるエリアです。

●浸水の危険性がある場所です。

浸水した場合に想定される水深

- 3.0m～5.0m
- 0.5m～3.0m
- 0.1m～0.5m

●土砂災害の危険性がある場所です。

土砂災害(急傾斜地の崩壊)

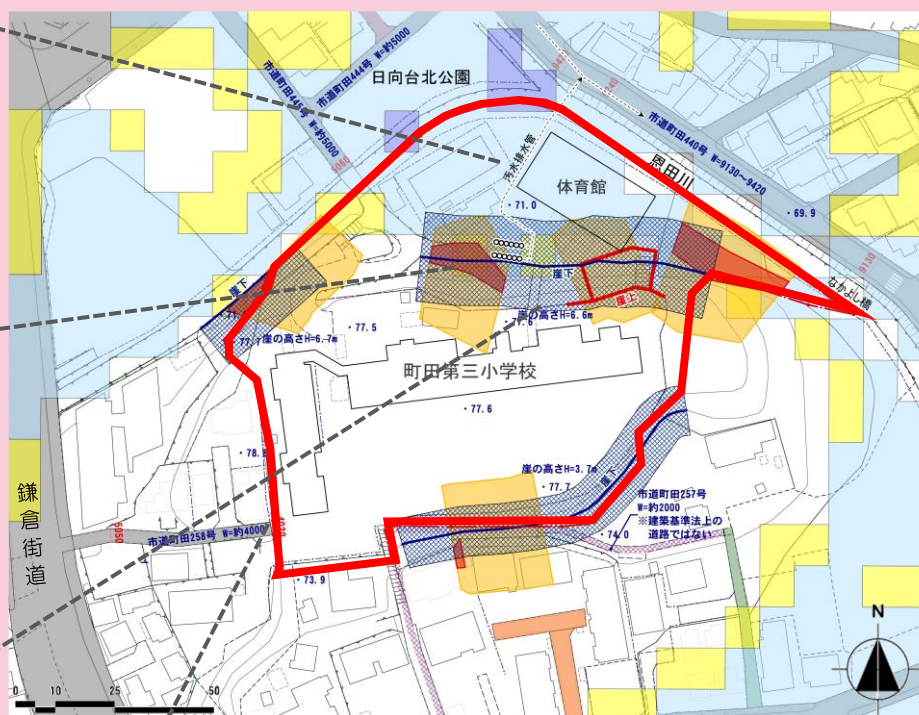
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

●がけの周辺には建築が制限されている場所があります。

東京都建築安全条例第6条(がけ)

制限のある範囲(崖の高さ×2)

構造制限のある範囲(崖上から30°)



●幅の広い道路に接していません。

町田第三小学校は、敷地の西側にある鎌倉街道から延びる幅4mの道路と接しています。建物を建てるためには、道路と敷地が接している必要があります。



場所によっては、土地利用の制限が多そうだな。

敷地と接している部分の道路の幅によって、建てられる建物の大きさ(床面積)も変わるよ。



問 10 町田第三小学校の跡地に、どのような施設や機能・サービスがあると良いと思いますか。

(自由記述)

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

町田第三小学校跡地の活用に向けた検討の進め方

▶これまでの経緯

町田市では、2021 年5月に策定した「町田市新たな学校づくり推進計画」に基づく市立小・中学校の統合によって、2028年3月に閉校となる町田第三小学校について、次の活用に向けた検討を進めています。

▶学校跡地の活用に関する考え方

学校は、教育活動の場としてだけでなく、災害時の避難施設など、地域の状況に応じた地域住民の活動の場としても、身近な場所となっています。

そのため、町田市は、「学校跡地の活用に関する基本的な考え方※」に基づきながら、それぞれの地域の特徴に応じた検討を進めていくこととしています。

さらに、学校跡地活用の検討にあたっては、それぞれの学校跡地を単独で考えるだけでなく、市全体のなかで、今後の公共の需要やまちづくりの視点などを踏まえながら、広く検討していきます。

※学校跡地活用の基本的な考え方

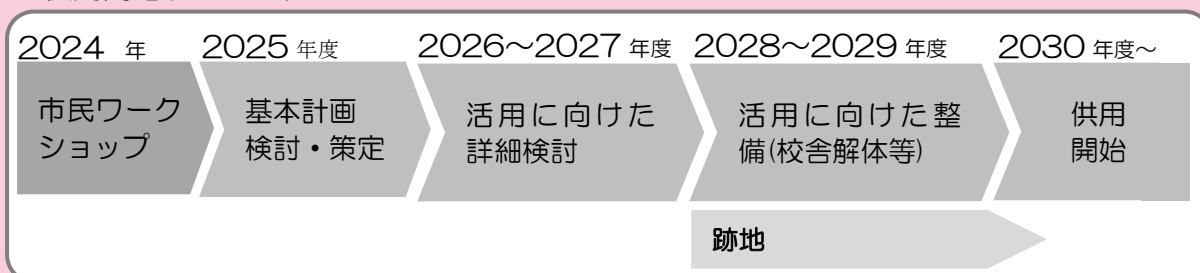
- 現在学校が担っている避難施設などの機能は、統合新設校や周辺施設等へ引き継ぐものの、引き継ぐことが難しい機能については、学校の跡地で引き継ぎます。
- 校舎などの建物は原則として、取り壊します。

▶学校跡地のこれまでの活用事例

跡地	活用事例
旧緑ヶ丘小学校跡地	・町田消防署の移転先として、貸付 ・グラウンドとして活用
旧本町田中学校・旧本町田西小学校跡地	・桜美林大学の新キャンパス用地として貸付

▶町田第三小学校跡地活用に向けた検討の進め方

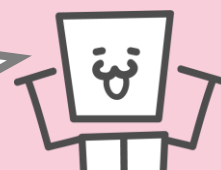
・供用開始までのスケジュール



・2024 年度 市民ワークショップ

次年度以降の町田第三小学校跡地活用のイメージやアイデア、基本計画につなげるコンセプト案について考えるワークショップの開催を予定しています。

詳細が決まり次第、町田市のHP などでお知らせするね！



実施時期、実施回数	2024 年 10 月～2025 年 1 月、3 回程度開催予定
想定参加者	町田第三小学校周辺にお住まいの方、町田第三小学校跡地で主体的に活動を行いたい方及び団体の方等、30 名程度

問 11 以下のような町田第三小学校跡地の活用や検討の進め方について、あなたの考えに最も近いものを選択してください。(それぞれ1つだけ)

(1) まずは学校跡地に公的な施設や機能・サービスを設置する必要があるかどうか整理するべきである。	
1 そう思う	2 どちらか言えばそう思う
3 あまりそう思わない	4 そう思わない

(2) 学校跡地は地域住民にとって身近な場所として、多くの機能を有していることから、アンケート調査やワークショップ等により、地域住民のニーズを把握しながら検討を進めるべきである。	
1 そう思う	2 どちらか言えばそう思う
3 あまりそう思わない	4 そう思わない

(3) 学校跡地の活用にあたっては、地域の活動団体など、様々な担い手が運営に関わることができるよう、体制づくりや機運醸成を進めるべきでる。	
1 そう思う	2 どちらか言えばそう思う
3 あまりそう思わない	4 そう思わない

問 12 今後の町田第三小学校跡地活用の検討に際し、どのようなことに留意すべきだと思いますか。(いくつでも)

1 地域活動・地域コミュニティへの配慮
2 防災機能の確保
3 周辺の街並みや景観への配慮
4 近隣住民の住環境への配慮
5 市の財政負担の軽減
6 その他 ()
7 わからない

公共施設見直しキャラクター紹介

みんなと一緒に学校（公共施設）のより良いかたちを考えていくよ！

まちおさん

まじめで物知りなまちぼう。まちだの「まち」→「まっち」→「まっちぼう」だじゃれだね。



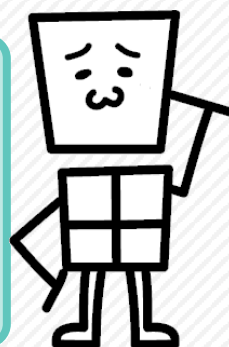
まちにゃん

無邪気でいつも元気なねこ。耳のかたちが英語の Machida (まちだ) の M になっているよ。

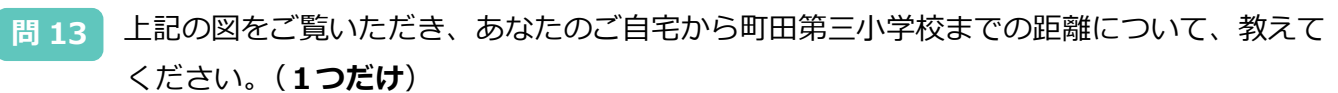


まちロボ

ちょっぴりおっちょこちょいなロボット。よく見ると、からだの漢字の町田（まちだ）になっているよ。



以下の説明をご覧ください、ご回答ください。



- 問 14** 今、大規模な地震災害が発生し、自宅が被害を受けるなど、一定期間避難生活を送る必要が生じた場合、どこに避難しますか。（1つだけ）

- 「6 町田第三小学校」を選択された方は間 15 へ、それ以外の方は間 17 へお進みください。

問 15 前問 14 で「6 町田第三小学校」と回答された方にお聞きします。

2028 年 3 月に町田第三小学校が閉校し避難施設でなくなる場合、どこに避難しますか。

(1 つだけ)

- | | |
|------------------|-----------------------------------|
| 1 本町田小学校 | 2 本町田東小学校 (2025 年度から本町田ひなた小学校) |
| 3 町田第五小学校 | 4 子ども創造キャンパスひなた村 (2025 年 4 月指定予定) |
| 5 その他 () | |
| 6 1~5 へ避難するのが難しい | 7 わからない |

→ 「6 1~5 へ避難するのが難しい」を選択された方は問 16 へ、それ以外の方は問 17 へお進みください。

問 16 前問 15 で「6 1~5 へ避難するのが難しい」と回答された方にお聞きします。

避難するのが難しい理由について教えてください。(自由記述)

問 17 市では、「アウトドア×防災」の取り組みとして、避難広場等で災害時に活用できる屋外型の避難用テントの配備をしています。このような避難用テントを活用する際に必要と思うものは何ですか。(いくつでも)

- | | |
|--------------------|----------|
| 1 トイレ関連設備 | 2 給電設備 |
| 3 炊事関連設備 | 4 防災備蓄倉庫 |
| 5 持参のテントを設置できるスペース | |
| 6 その他 () | |

「アウトドア×防災」と屋外型の避難用テント

町田市では、「アウトドア」と「防災」を組み合わせ、災害時の行動や避難生活にアウトドアの知識をいかす「アウトドア×防災」の取り組みを推進しています。

その中で、地域における屋外避難の新しい手法として「屋外型の避難用テント」の配備を進めています。この「屋外型の避難用テント」の配備は、避難スペースの確保だけでなく、避難生活中的プライバシーの確保や、感染症の予防などの効果も期待できます。



This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

2024年 8月21日（水）までにご投函ください。



60